

I D E V I は農地造成の他に農産加工施設、試験農場、機械修理工場等も設置している。

6) 県と市町村の行政組織と機能

県は行政組織としての機能をもっていない。単なる地理的なまとまりでセンサス等の集計単位になっているにすぎない。そのため県に長はいない。行政的には、州から直接市町村に下りる機構となっており、市町村はその長を中心として市町村としての行政機能をもっている。市町村長は市町村議会の選挙により選出される。市町村はその規模により、4つのクラスに分けられている。調査地域内には第1級はなく、第2級にCaa Ca ti, Ituzaingo, Beron de Astrada の3町が、第3級にはSan Carlos, Ita Ibate の2村がある。

3.2 社会インフラ

1) 集落

調査地域内の関係市町の人口はLoreto地域ではBeron de Astorada 町2,477人、Ita Ibate 町1,971人、Loreto町1,368人、San Carlos地域ではItuzaingo 市22,076人、San Carlos町1,368人であり、調査地域内の全体の人口は29,037人である。Corrientes 州の人口707,104人の4.1%である。

国道、州道を除く地区内の道路は現在未舗装であり、雨天時、又は雨天後に泥ねい化により車両の通行が不可能となるが、電気、通信、飲料水、教育、医療の各施設は一応州平均並に整備されている。散在して点在する農家住宅は、自家発電設備(200v、6～30kw程度)を備え、電気、飲料水施設及び農産加工施設の動力として利用している。

2) 電気施設

Corrientes州内の主な市町は全て電力の供給を受けている。電力供給は内燃機関によるものとSalto Grande水力発電を主な電源とする州外からの供給の2種類がある。調査地域内は現在全てディーゼル発電である。また、Yacyreta発電設備(132kw/台)は現在建設中である。

3) 通信施設

(1) 郵便

郵便と電報のサービスは州内の50箇所の郵便電報公社(ENCOTEL)の支所および135箇所の出張所で実施している。

Loreto、Ita Ibate、Beron de Astrada、San Carlosの郵便物の郵送は3回/週である。また、郵便配達は町の中心地域のみを対象としている。

(2) 電話

電話のサービスは電話公社(ENTEL)が実施している。開発対象地域内の電話回線数はLoreto 100、Ita Ibate 300、Beron de Astrada 60、Ituzaingo 600、San Carlos 90となっている。Ituzaingo市では1990年までに2,000回線の増加が計画されている。Corrientes州には、州の外周に通信基地を設置し、州全体を通信可能とする計画がある。

4) 飲料水施設

州内の60戸以上の住宅のある市町村には、ほとんど公共水道施設がある。散在している農家は自前の井戸や浅井戸によっている。

5) 教育施設

小学校には幼稚園が併設されている。小学校(6~12才)は6年制で、義務教育である。中高等学校は普通5年制で、技術校6年制、小学校の教師コース7年、幼稚園の教師コース8.5年)で、大学は学科により異なり、4~6年制である。教育費は無償である。開発対象地域内の小学校は州立である。1985年センサスによると小学校の就学率は89%である。

調査地域の関係5県には140の小学校があり、生徒数16,328人、教員数691人となっている。州全体では、871の小学校があり、生徒数127,929人、教員数5,334人となっている。

調査地域の関係5県には20の中高等学校があり、生徒数3,342人、教員数475人となっている。州全体では、122の中高等学校があり、生徒数33,663人、教員数4,577人となっている。

開発対象地域内の中高等学校は普通、商業、工業科のみであるが、開発対象地域の近くに農業課程を有する中高等学校が2校ある。

一つはSan Miguelにあり入植地の農家の子弟を対象とした5年制の私立学校である。この私立学校の特徴は、15日自宅学習および労働、15日合宿による授業で、小規模農家の経営状況に合せた教育を実施していることである。

また、Gdor. Igr. V. Virasoro に国立農業中高等学校がある。この学校は、6年制で1～3年まで農業の基礎について教育し、4～6年は農業全般について専門教育を行う。専門コースには牧畜および林業がある。生徒数は167人(1987年)で、その多くは中小農家の子弟である。授業料は政府負担で、教材費は民間会社の負担で運営されている。

大学はCorrientessi市にNoreste 大学の9学部がある。

6) 医療施設

1985年の関係5県の人口は86,678人である。また、公立の医療施設数は25、ベッド数281、医師数29である。人口1,000人当りで見ると、ベッド数は3.2で、州平均の2.9より高い。医師数では0.3で、州平均の0.7と比べるとかなり少ない。しかし、調査地域は0.7人で州平均と同程度である。(州都のCorrientes市は1.5人である。)

調査地域で最も程度の高い病院は区分Ⅳに属し、Ituzaingo にひとつある。このほか開発対象地域から20km離れた所にMisiones州の州都Posadas 市がある。そこの公立医療施設は区分Ⅵが3か所、ベッド数は679である。この他に民間の医療施設で区分ⅥとⅢのものがあり、ベッド数は455である。

注 1) 区分Ⅰは医師の常駐しない診療所(看護婦が常駐)

2) 区分Ⅱは医師が常駐しベッドがあり、常駐しない歯科がある。

3) 区分Ⅲは一般的な診療と入院ができる。その他に簡易な産科、外科、最少限度の試験室とレントゲンがある。

4) 区分Ⅳは内科、外科、小児科、婦人科があり、医師が常駐し、診療、入院、試験室、レントゲンがあり歯科医が常駐する。

5) 区分Ⅴは区分Ⅳと同じだが、入院できない。

6) 区分Ⅵは区分Ⅳの他に外傷医科、眼科、病理解剖が加わる。

州立病院の資金は、(i) 州政府からのもの、(ii) 社会保険あるいは自己資金、患者か

らのもの、(iii) 協賛者による寄付からなっている。社会保険を受けているものは、公務員、企業の従業員その他で、その家族も含めて州内の約2/3 が受益対象となっている。企業主、失業者およびその家族は社会保険の対象となっていないが、低所得者の診療は無料で、手術等は一部負担となっている。なお、民間病院でも社会保険による診察を受けることができる。

3.3 土地所有と入植

1) Corrientes州の土地所有の現状

1969年センサスによるとCorrientes州の農家数は約26千戸で、1戸当りの土地所有面積は285haである。農耕地面積は約288千haで、11ha/戸、放牧地面積は約5,477千haで、212ha/戸である。1974年センサスによるとCorrientes州の農家数は約28千戸に増加し、1戸当りの土地所有面積は264haに、農耕地面積は約291千haで、10ha/戸、放牧地面積は約6,010千haで、213ha/戸になった。すなわち、5箇年間で1戸当りの土地所有面積はやや減少したものの、1戸当りの農耕地、放牧地の面積はほぼ同じである。

2) 調査地域関係5県の土地所有の現状

1969年センサスによると関係5県の農家数は約2,770戸で、1戸当りの土地所有面積は608haと州平均より大きくなっている。農耕地面積は約64千haで、23ha/戸、放牧地面積は約1,371千haで、495ha/戸と、州平均より規模が大きくなっている。

1974年センサスによると農家数は約3,410戸に、約23%増加し、1戸当りの土地所有面積は497haに減少している。農耕地面積は約61千haで、18ha/戸、放牧地面積は約1,355千haで、397ha/戸に減少している。

すなわち、5箇年間で農家数は大きく増加し、農耕地面積、放牧地面積はやや減少したため、1戸当りの規模が小さくなったものの、州平均より規模が大きくなっている。

3) 調査地域の土地所有

1987年に地籍図から500ha以上の土地所有(個人および法人)を調査した。その特徴は以下の通りである。

- i) 調査地域(約400千ha)には500ha以上の所有者が117戸で、面積で82%

の土地を所有している。(公有地を除く)

ii) 3,000ha 以上の農家が面積で54%の土地を保有している。

表3.1 調査地域別の土地所有

土地所有面積 の 規模区分	Loreto地域			San Carlos地域			計		
	戸数	面積 ha	比率	戸数	面積 ha	比率	戸数	面積 ha	比率
10,000ha以上	3	42,000	19	2	30,400	17	5	72,400	18
5,000~10,000	6	46,800	21	6	43,500	27	12	90,300	22
3,000~5,000	8	29,900	14	7	25,200	14	15	55,100	14
2,000~3,000	9	23,000	11	9	20,700	12	18	43,700	11
1,000~2,000	13	17,400	8	18	24,900	14	31	42,300	11
500~1,000	9	5,400	2	27	18,200	10	36	23,600	6
計	48	164,500	75	69	162,900	91	117	327,400	82

注) 調査地域(4000,000ha)の土地所有現況を原則として500ha以上の土地所有者について地籍図及び登記面積から調査した。

4) Corrientes州の入植の現状

中央政府が1872年に制定した入植法ベースとして、1883年に第一回の入植が行われた。1889年に州独自の入植法が制定された。州内の入植地は明確なものが32箇所、105千ha、2,440戸である(平均43ha/戸)。その他に不明確なものが5箇所ある。調査地域内の入植地は2箇所である。

州有地は約86千ha、うち農業に適した土地は約25%と推定される。調査地域内の州有地は約1,700haである。なお入植の計画は現在ない。

3.4 農業関連施設

1985年全国センサスによると、Corrientes州には約1,400の農業関連施設があり、これらの多くはCorrientes州内で生産される農畜林産品の加工を行っている。

Corrientes州における農業関連工業は工業部門の生産額の80%を占めている。これらのうちでは、タバコの施設が多く、ついで繊維、木材の施設、マテ茶の施設、家畜の処理・加工・冷蔵施設、米の施設などがある。

就業者割合で見ると、52%が飲食料品およびタバコ関係となっている。繊維及び皮革21%、木材関係7%となっている。したがって、就業者の80%は農業およびその関連工業部門に携わっている。

Corrientes州の農業関連工業は民間主導のものが多く、公的な施設はサイロ、小規模な屠殺場だけである。

1) 米の乾燥、貯蔵、精米施設

(1) Corrientes州内の現状

Corrientes州では古くから米の生産が行われている。ほとんどの県で栽培されており、米の栽培面積は55,000~68,000haである。最近の生産量は120千ton強であり、これらの80%は州内の41箇所の精米施設で加工されている。乾燥施設およびサイロをもつ施設もある。

国内向けの米は籾をとり、精米されるが、海外市場向けでは玄米で流通している。

米に関する施設はCorrientes州に約50箇所あり、そのうち調査地域内には約5~10%の施設が存在するものと推定される。施設の設備内容は大別すると、籾の乾燥および貯蔵、精米および包装に区分され、経営内容は籾の乾燥および貯蔵だけのもの、精米および包装だけのもの、籾の乾燥から包装まで一貫した設備を有するものの3形態に区分される。経営組織別では、籾の乾燥および貯蔵だけを行うものは、作付け面積200ha未満の個人農家が多く、精米および包装だけを行うものは、会社組織がほとんどであり、籾の乾燥から包装まで一貫して行うものは、作付け面積200ha以上の企業的農家、組合および会社組織となっている。それらの割合は会社組織が約50%、組合組織が約10%、個人及び企業的農家が約40%となっている。

米はCorrientes州内で生産されたものを処理し販売しており、Corrientes州外からの入荷はほとんどない。しかし、Corrientes州で生産される量の約20%は、収穫後そのままCorrientes州外へ出荷されている。

また、J N GがMercedes、Santo Tome、Ita Ibate にサイロの建設を行っている。

Ita Ibate のサイロはLoreto地域内に、またSanto TomeのサイロはSan Carlos地域から運搬可能な位置にある。現在建築中である。

Santo Tomeのサイロの近くに農協のサイロ (10,000ton)がある。また、Virasoroに5,000tonのサイロがある。

(2) J N Gの穀物貯留

BarranquerasのJ N Gのサイロは100,000tonの貯留能力を有し、1984年には450,000ton、1985年には308,000tonの貯留を行った。70%は Chaco州から入荷している。1983年10月から1985年 8月の作物ごとの貯留実績は、ソルガム282,300ton、ヒマワリ7,500ton大豆1,600tonトウモロコシ1,300ton小麦13,500ton 等となっている。

ここには78のサイロがあり、ひとつのサイロで大豆は550ton、小麦700ton、ソルガム600tonの貯留ができる。

J N Gのサイロは全国12箇所にあり1985年末で2,580,000tonの貯留能力がある。港湾地域の地上方式886,000ton、港湾地域の地下方式827,000ton、農村地域の地上方式276,000ton、農村地域の地下方式276,000tonとなっている。また、1987年度内に152,000tonを増設する予定である。

穀物については国が最大の買手で、85年には船積みされた57%がJ N G、28%が個人、15%がJ N G経由の個人となっている。

(3) 精米会社の状況

Corrientes市付近の精米会社(Arroz S. A.)で聴き取り調査を行った。農家が持込んだものを乾燥して (1%/2hrで18%~23%のものを14%まで)、貯蔵し、精米して販売している。

取扱っているものとしては、Irya409、Blue Bonet、Blue Belle、Fortuna がある。

初扱は60A/ton で売れ、14ton積みのトラック（トレーラ付き）で146台分を Buenos Airesに向けて売却している。

(4) 野菜、果実の選果及び加工施設（Corrientes州内の状況）

Corrientes州では全国の柑きつの30%が生産されている。主にBella Vista、Saladas、Monte Caserosが多い。栽培面積は約30,000haで、生産量は300,000tonとなっている。これらの50%は生食用であり、パッキングは13の選果施設で行っている。残りの50%は、濃縮ジュース、クリーム（皮含む）とオイルの生産に使われている。

Corrientes州では野菜の生産が最近5年間に急激に伸びた。プラスチックハウスの導入により、品質が向上し、天候の影響が少なくなった。このタイプの生産地はGoya、Corrientes、San Cosme、Bella Vista、Mburucuya、Saladas、Mercedesの各県に位置している。主にトマト、ピーマンの栽培に利用されている。生産の全量は青果市場向けで、缶詰、乾燥、冷蔵の施設はない。

野菜、果実の施設は州内に約50箇所あるが、その約50%は個人経営と考えられる。

小規模な個人を除くその他の施設の設備内容は柑きつ類からジュース等を製造している施設が約50%、野菜、柑きつ類の選果、梱包を行う施設が約50%である。

経営組織としては、ジュース等の製造を行っているものが会社組織約50%、組合組織10%、個人約40%である。選果、梱包を行うものは会社組織約10%で、残りはほとんど個人となっている。なお、個人のなかには有限会社が一部含まれている。

柑きつ類からジュース等を製造する施設が取扱っている作物は、主として、オレンジ、グレープフルーツ、マンダリン、レモンである。入荷先はグレープフルーツがCorrientes州外からで、それ以外はCorrientes州内である。また、選果、梱包を行う施設が取扱っている作物は、主として、オレンジ、マンダリン、レモン、イチゴで、入荷先は全てCorrientes州内である。

出荷先は、ジュース等に加工されたものおよび選果、梱包されたものとも、国内販売と輸出に区分される。国内販売は主として、Santa Fe、Cordoba、Buenos Ai

res、Mendozaで、輸出先は主として、欧州、北米である。

将来計画としては、MAGICに建築申請の出ているものが3施設あるが、調査地域内での計画はない。現在の処理施設の能力は、200,000~300,000tonと推定される。

3) 家畜の処理・加工・冷蔵施設(Corrientes 州内の状況)

州内のほとんどの県で畜産が行われている。タイプA(500頭/日の処理能力)、タイプB(150頭/日の処理能力)、タイプC(80頭/日の処理能力)、ルーラル(10頭/日の処理能力)、その他(10頭未満/日の処理能力)の5形態に区分される。Corrientes州においてはタイプB以下は冷蔵施設を有していない。屠殺場は10施設あるが、輸出用の肉を加工できる施設は2箇所しかない。

タイプA~Cはほとんどが会社組織である。タイプAは他州から家畜を入れているが、他は州内となっている。

タイプAのひとつの施設はCorrientes市にある牛を対象とする施設であり、他の一つはCuruzu Cuatiaにある羊と牛を対象とする施設である。各々1日400頭以上の処理能力をもっている。

Corrientes市のものは現在1日180~200頭しか稼働していない。また、Curuzu Cuatiaの施設はEC基準に合わせるための施設を改善中である。

残りの8箇所のうち、2箇所は1日180頭以上の処理能力を持つが、冷凍施設、乾燥施設ともない。他は屠殺のみを行う地域向けのもので、週に数日稼働しているのみである。

副産物としては、タイプAが皮、血、骨、肉の切れ端、脂肉等であり、タイプA以外が、皮、血となっている。すべての施設で皮は皮なめし施設へ販売されている。骨、肉の切れ端は粉にして家畜の飼料、脂肉は食用油とローソク用に加工し販売されている。

将来の計画としては、新設の計画はないが、拡張計画として、タイプAが血を粉にして、家畜の飼料とすることと、国内用としてハンバーグの製造を行う計画がある。タイプBの施設のうち、Santo TomeにあるAlto Uruguay L.T.D.A.とGoyaにあるFrigorifico Goyaが、タイプAへの申請を行っている。また、ルーラルとその他は施設の整備が簡易であるため、関係省庁からタイプCクラスの設備に改良するように指導を受けており、現在改善を行っている施設もある。

Corrientesの施設では処理工程で使用した水を未処理で排出している。どの施設もこの排水を処理するシステムを持っていない。

各施設とも需要の減少のため稼働率が低下しているが、潜在的な処理能力はある。

4) 木材産業(Corrientes 州内の状況)

Corrientes州の木材はほとんどが植林によるものである。調査地域の関係5県で、州全体の47%を占めている。現在は木材加工施設として製材所と防腐処理施設しかない。

州政府に37箇所の加工施設が登録されており、うち5箇所が開発対象地域にある。このうち4箇所は製材所で、7,500,000立方フィートの年間処理能力を持つ。他の1箇所は電柱の防腐処理施設で、年間57,200本の製材能力を持つ。Ituzaingo付近に乾燥施設を持つ合板工場が予定されている。

木材の全量が州内で処理されておらず、伐採場所から700~1,000km運搬されて加工されるものもある。

5) 農業機械の修理

Corrientes州の農家は一般に150ha以上となっている。主に水稲作が多く、大型のトラクター、コンバインが使用されている。しかし、現有の機械の全てが使用できる状態になっているわけではない。一般の修理は農家内で行われるが、大きな修理は専門店がないため、長期間使用できなくなることも多い。

修理施設は集落の近く、あるいはガソリンスタンドの近くにあり、機械修理のできる施設がある。しかし、農家から修理屋までの運搬手段がない状況である。また、いくつかの農協では、技術指導、燃料の供給、部品の用意を行っている。

6) その他

(1) Paso de los Libres (ブラジルへの輸出)

農業関連施設の配置を検討するため、Paso de los Libresで聴取を行った。

アルゼンティンからブラジルへの陸路の輸出ルートとしては、Paso de los Libres, Cataratas del Iguazu, Bernardo de Irigoyenがある。出入量はトラック輸送では、87年1~6月の実績で、Paso los Libres 247,171ton、Iguazu 26,150ton、Irigoyen ゼロtonとなっており、Paso de los Libresが90%を占めている。

Paso de los Libresからリオ、デ、ジャネイロ、サンパウロにトラック輸送している。サンパウロまでは約2,500km あるが、アルゼンティンからブラジルの経路となっている道路は平坦である。また貿易関係の事務所もPaso de los Libresに集まっている。

Paso de los Libresからの輸入 175百万us\$(87年 1~10月、FOB 価格)、輸出 105百万us\$(同) となっている。輸入品としては、バナナ、メロン、パパイヤ、スイカ、トラクター、紙などである。紙の輸入が多く、特に新聞用の用紙が多い。

輸出はポロット豆、果実(リンゴ、ナシ、オリーブ)、肉、ジャガイモ等である。

1986年の鉄道によるブラジルへの輸出は主に大豆(75千ton)、ポロット豆、米(40千ton)である。

鉄道による輸入は肥料が多く、1箇月(年間1回の輸入のみ)で12千tonである。製紙用のセルロースが月に200tonづつ恒常的に輸入されている。その他、木材、トマト、陶器が輸入されることがある。

鉄道による輸出入は25年ぐらい前から行っている。軌道巾はアルゼンティン1.43m、ブラジル1mとなっており、ブラジルで積替えることが多い。サンパウロ、ポルトアレグレまで通じており、輸送に10~20日かかる。

(2) IDEVIと農村工業

a) Viedma産業センター

i) ガス供給のネットがあり、電力、電話、テレックス、鉄道、工業用水が整備されている。2km離れた所に国際空港がある。

ii) 果実の加工施設(3箇所、計35,000ton 処理)がある。

iii) 家畜の処理、冷蔵施設(2箇所、計 牛2,500 頭/月、羊5,000 頭/月処理)がある。

iv) 羊毛工場(4,000ton/年)がある。

v) 製材所、果実の乾燥施設がある。

b) 農村工業開発の調査

IDEVIは農村工業開発のために、輸出の手続き、融資導入の方法、技術導入

の手續きの調査を行っている。調査対象となっているのは以下のようなものである

- i) 野菜、果実の冷蔵プラント
- ii) 野菜、果実の乾燥プラント
- iii) ブタ、ウサギの家畜処理、冷蔵プラント
- iv) 乾草(フォーレージ)のプラント

(3) ジェルバ、茶の加工施設(Las Marias)

ジェルバは30,000tonの生産のうち、6,000tonが輸出用である。輸出先は、チリ、アメリカ、中東、ヨーロッパである。原料の1/3は自家農園で生産、2/3は購入している。

周辺農家の2~3倍の単収を得ている。今後の5~10年で更に2倍にもっていけると考えている。増収の要因は農業機械、品種、肥料、土壌の分析、害虫への抵抗性等で、今後の課題は水のコントロールである。

周辺農家は人力収穫をやっており、コストは同じくらいである。今後、労賃が上がれば機械収穫が有利になる。

茶は自家農園のもののみで、1,000ton~1,200tonの生産である。主に国内市場に販売しており、100tonをアメリカに輸出したのみである。

3.5 農業組織

1) Corrientes 州内の農民組織

(1) 農業協同組合

a) 概況

州内には38の農協がある。このうち、関係5県には7農協がある。7農協のうち活発な活動をしているのは、Santo Tome県の大豆、トウモロコシ、米の農協、Ituzaingo 県のマテ茶の農協である。

b) Santo Tome県の農協(Coop del Dieaginoso L.T.D.A)

1969年に創立され、約650人の組合員がいる。そのうち活発なのは約200人であ

る。加入条件は農業者であること、入会金 50Aを支払うことである。殆どの農家(80~90%)は借地による農業を行っている。

1986年の農産物の取扱い量は大豆(14,000ton)、トウモロコシ(15,000ton)、ソルガム(800ton)、米(13,000ton)である。米は国内販売と鉄道によるPaso de los Libres経由でのブラジルへの輸出(1986年3,000ton)がある。大豆はRosario港経由の輸出と国内の製油工場への売渡しがあがる。トウモロコシはEntre Riosの配合飼料工場に売渡している。現在農協が配合飼料工場(5,000kg/時)を建設しており、トウモロコシ、ソルガム、米糠の配合をする予定である。

農産物の荷受け、出荷の手数料として、3%を受取っている。

種子、肥料(年間2,200ton)、農業機械の農家への販売を行っている。

c) Loreto地域の水稻作農家と Santo Tome県の農協

Ita Ibateの6戸程度から約3,000tの米がSanto Tome県の農協に持込まれている。

Loreto地域で水稻作をしているのは、自作農家と借地農家である。借地農家は、Corrientes市に住む数人が出資した法人である。農業機械を保有し、Loreto地域の人を雇用して、借地で行っている。借地料は生産物の12%程度であり、主に生産物で支払っている。

Goyaの地域に比して、Loreto地域の水稻作付面積の低下が大きい。Goyaの地域ではラグーン、小河川から小さな揚程でポンプアップしている。Loreto地域ではParana河からポンプアップして10数kmを導水しているところもある。米価が低迷するなかで、揚水のための燃料費が上昇している。

d) Goyaの農協

1952年に米とタバコの農協として発足した。その後、タバコは別の農協にした。設立の目的は以下の通りである。

- i) 生産者の価格形成力を強めること
- ii) 農薬、肥料、機械を安く購入すること

加入条件は水稻作農家であること、1,000kgの米を納めることである。現在 350

人の組合員がいる。1986年の施設の拡張に際して、米を農家から現物出資してもらった。

農家はParana河、ラグーン、小河川からポンプアップして水稻作をしている。借地でやっているが、砂地が多く、肥料なしで、2年間米を作り、5年休閑する。

農家は収穫したままで、農協に持込む。農協が精米を行い、販売をし、その代金を農家に渡す。

米はブラジルとイランにかけて輸出したことがある。ブラジルへはPaso de los Libres経由で鉄道により行った。イランへはConcepcion del Uruguayまでトラックで輸送して、輸出した。

(2) Goyaの果菜類生産組織(組織名BAC)

トマト、ピーマン、イチゴの生産、パッキング、出荷を5人の協同でを行っている。また、周辺の生産者のパッキングと出荷を行っている。

BACには3人の仲買人がいる。販売後12~15日で仲買人は代金を精算するが、生産者は直接売買価格を知ることができないシステムになっている。

ローカルな手数料3%、仲買人の手数料10~12%となっている。

(3) CREA

Santo TomeのVirasoroにはCREAと呼ばれる農業研究グループがある。Litoral Norte 地域に属し、現在メンバーは8名である。Buenos AiresにCREAの本部がある。

3.6 農業金融

1) 農業信用の概況

Corrientes州内に銀行としては中央政府系3行、民間銀行6行がある。この他、JNGによる燃料代の前渡し制度がある。

2) 中央政府系銀行

以下のものがある。

- i) 国立銀行 (BNA)
- ii) 国立勸業銀行 (BHN)
- iii) 国立開発銀行 (BND)

3) Corrientes州立銀行 (BPC)

(1) 概要

州政府が資本金の60%出資して設立した。州内に33支店がある。中央銀行 (BCRA) から再割引きされた特定の資金及び独自の資金で融資を行っている。

(2) BCRAの資金による融資

短期(約1年未満)と長期(約5年)の2形態で1960年ごろから開始された。現在は長期融資の業務は行っていない。現在の融資残(利子を含む)は短期70%、長期約30%となっている。短期融資の内容は以下の通りである。

- i) 融資の対象は1985年4月以降、栽培作物の種類で限定されている。対象作物は米柑橘類、雑穀、綿、タバコ、羊毛、野菜、マテ茶、茶となっている。
- ii) 融資の時期は次の4段階に区分されている。第1段階が播種の準備作業、第2段階が収穫直前までの作業、第3段階が、収穫から貯蔵までの作業、第4段階が販売までの作業であり、融資はこれらの作業における燃料、労務などの費用に対して行われている。
- iii) 融資に対する審査はMAGICの農業局に属する技術者が、融資対象作業等の確認を行い証明書を交付している。申請者が多い場合は、MAGICの農牧商工局で対象者を決定している。

(3) BPC独自の資金による融資

融資合計額は約5百万US\$で、すべてが短期融資であり、長期融資は行っていない。内容はBCRAからの資金による融資とほとんど同じである。相違している点は以下のとおりである。

- i) 融資対象を限定していない。
- ii) 限度額は、機械類に対して購入価格の60%、それ以外のものが購入価格の70%である。

iii) 融資に対する保証は不動産、機械、生産物を担保とし、それ以外は認めていない。

4) 民間銀行

これらの民間銀行は市中金利で農業部門に対して融資を行っているが、金利が高いため、融資額は少ない金利は1987年の2月時点で13%/月である。

5) JNGによる燃料代の前渡し制度等

(1) JNGによる燃料代の前渡し制度

小規模農家ためにJNGが燃料代(1,000リットル分)を前渡しし、生産後に生産物(4,300kg)で返済する制度がある(ソルガムの例)。同様の燃料代の前渡し制度が水稲作についても1987年に制定された。

JNGの倉庫料は農業保護のため、低くされている。また、JNGのサイロに農産物の保管を依頼すると、JNGは保管証書を発行する。この証書で銀行から借金をして、運転資金にすることができる。農家は売却先が決まった後、銀行に返済して、農産物を転売することができる。

(2) CORFOの農業助成

用排水路の管理、機械の貸付等をCORFOが安価な料金で行っている。

CORFOが債務保証したものに、州立銀行が融資する制度が5年くらい前まであった。これにより、約25,000haの土地の改良を行った。現在は中央政府系銀行が6~7%/月の融資資金を用意しているが、借手がない状況である。

農家を組合員とする銀行があり、一般のローンより2ポイントくらい低い利子で国から融資を受けることができる。1327戸の農家の約40%が加入しており、小規模農家のほとんどが加入している。

(3) IDEVIの農業助成

a) 入植時納入金の貸付

入植時に45,000A(1000US\$/ha程度であり、全額の12%程度)をIDEVIに納入する。

入植が終わると、I D E V Iはこの資金を入植者に7年間貸付ける。3年間据置き、4年目10%、5年目20%、6年目30%、7年目40%を返済させる。各年の融資残額を牛肉価格で換算し、これに2%の利子率を乗じる方式をとっている。なお、土地代金は2~3年据置き、15年ぐらいで返済する方式となっている。

b) I D E V Iと融資

農家が融資を申し込んできたものを、I D E V Iの技術部で検討を行う。優良なものは、I D E V Iが国立銀行(Banco Nacion)に保証書を作成する。国立銀行が農家に融資を行う。

J N Gが4年前から燃料などを農家に前渡しするシステムを作った。I D E V I管内では、I D E V Iが保証人になって融資を受けさせた。

災害時にはI D E V Iが資金を貸すことがある。融資額をその時点の農産物に換算し、農産物で返済をさせる。

団体、組合の特別なプロジェクトに現物などで融資する。

3.7 農業技術の開発と普及

1) Corrientes 州での農業技術の開発

農業技術の開発はI N T A、大学等で行われている。I N T A Mercedesは牧畜を主とする広大な地域と東部の大豆、トウモロコシの地域を管轄し、これらに関連する農業技術の開発を行っている。I N T A Bella Vista は州の西部、西南部の米、柑きつ類、トマト、ピーマンの地域を、I N T A Corrientesは州北西部の牧畜、米、野菜、花木の地域を管轄し、これらに関連する農業技術の開発を行っている。

2) Corrientes州内の農業普及の現状

I N T Aが中心になっており、13箇所の農業普及所がある。

E E A Mercedesは牧畜を主とする広大な地域と東部の大豆、トウモロコシの地域を管轄している。5箇所の農業普及所があり、獣医、農業技術者が重点的に配置されている。

E E A Bella Vista は州の西部、西南部の米、柑きつ類、トマト、ピーマンの地域

を管轄している。4箇所の農業普及所があり、農業技術者、小規模農家のための生活改善普及員が重点的に配置されている。

E E A Corrientesは州北西部の牧畜、米、野菜、花木の地域を管轄している。5箇所の農業普及所があり、農業技術者が配置されている。

州内には26人(1984/85)の普及員が配置されている。普及活動は、テレビ、ラジオ、広報誌等を使って行っている。

また、MAGICの出先機関が21箇所にある。ローンの窓口業務、農牧林業の情報収集、農家の技術指導を行っている。各出先機関には2～3名(技術者1～2名、事務員1名)の職員が配置されている。

3) IDEVIの研究開発と農業技術の普及

1964年～1965年にIDEVIの予算で農業試験場と普及所を設置した。

(1) 研究開発

- i) トウモロコシ、大豆の栽培技術の移転
- ii) ホワイトアスパラガスの包装技術の開発
- iii) 400haのトウモロコシの生産
- iv) 200haの冬野菜の生産

(2) 技術移転

- i) 250戸の農家に対する技術指導、トラクターの操作、野菜、果実の栽培の技術指導
- ii) かんがい技術、土壌保全、入植者への技術指導
- iii) 他地域の農家への技術移転

4) CORFOの訓練センター

CORFOが企画して、文部省から建設費を出してもらい、CORFOが労力を提供して設置した。宿泊施設を併設している。

水路管理、トラクタ操作、かんがい技術、測量等の最新技術の習得を目的としている

重点項目は以下のとおりである。

- i) 各部門の専門家の育成
- ii) 一般教育の支援
- iii) 農村中小企業の計画と経営手法の教育

第4章 農産物の流通

第4章 農産物の流通

4.1 農産物の流通概況

1) 農産物流通

アルゼンティン国は、伝統的に農畜産物については国内需要を優先し、国内消費の余剰を輸出に向ける政策をとってきた。このため輸出量は変動が大きく、消費国に対し、安定的に農畜産物を供給するという面で難点が在った。(表4.1)。しかし、重要な輸出産業として農牧業が最認識されるにつれ、JNG、JNC等を通じた積極的な海外市場の開拓も検討されるようになってきた。

農産物の中で最も生産量が多く、かつ輸出量も多いのは穀物で、次いで大豆をはじめとする油糧作物が続いている。表4.2 に過去20年間の主要農産物の生産額シェアを示すが、近年は伝統的な牧畜との輪換による小麦+とうもろこし生産にかわり、小麦+大豆の輪換が増加し、大豆の生産が急激に伸びていることが注目されている。このような穀物は、主として図4.1に示す流通経路をたどって市場へ出荷されている。流通段階では、“Acopiador”と呼ばれる仲買人が重要な地位を占め、農協等農民自身による流通への参加割合は小さい。穀物価格は国際市場価格（Buenos Aires港のFOB価格）をベースとして決定される仕組みとなっているが、生産者の手取りは、輸送経費、港湾経費等が高額であるためFOB価格の50%程度で、相対的に低く押えられている。

野菜、果物等の農産物の国内における流通に関しては、Buenos Aires中央市場が最も重要である。Buenos Aires中央市場は、1984年10月15日、Buenos Aires市郊外に210haの敷地を有して、新しく設立され、大 Buenos Aires市全域をカバーする農産物の集積地として重要な機能を果たしている。表4.3. に野菜、果実の生産に関する主要な統計を示す。

表4.1 アルゼンティン国における主要農産物の流通

Commercialization of Major Crops in Argentina

Year	Wheat 1)			Maize 1)			Sorghum			Sunflower 1)			Soybean				
	Dec. - Nov.			Mar. - Feb. 1)			Mar. - Feb. 1)			Jan. - Dec.			(Apr. - Mar. 1)				
	Used by	% of	Used by	% of	Used by	% of	Used by	% of	Used by	% of	Used by	% of	Used by	% of	Used by	% of	
1960/61	3,068	26.1	234	90.5	45	55.2	700										
1961/62	3,055	47.2	231	88.3	89	76.4	535										
1962/63	3,083	34.9	209	93.3	102	80.8	781										
1963/64	3,154	50.0	206	92.7	81	87.1	484										
1964/65	3,172	64.3	284	92.3	98	87.0	450										
1965/66	3,085	64.3	422	86.3	129	52.1	977										
1966/67	3,181	40.9	379	91.1	152	87.3	846										
1967/68	3,308	40.4	452	90.1	129	76.5	1,227										
1968/69	3,251	43.2	559	85.3	159	79.7	895										
1969/70	3,346	40.6	623	85.8	166	88.8	939										
1970/71	3,640	18.8	749	88.1	215	90.3	1,198										
1971/72	3,746	29.2	1,016	86.4	216	91.6	942										
1972/73	3,605	46.2	1,181	68.2	282	64.3	953										
1973/74	3,588	29.4	1,145	80.4	292	88.6	965										
1974/75	3,774	31.2	1,603	78.1	213	93.3	997										
1975/76	3,918	44.1	1,378	72.3	521	81.8	634										
1976/77	3,835	60.3	1,372	59.5	278	92.5	872										
1977/78	3,778	30.7	1,169	81.9	197	95.4	1,003										
1978/79	3,750	51.6	1,035	85.1	220	95.5	1,271										
1979/80	3,569	57.0	1,210	83.1	253	93.7	1,363										
1980/81	3,546	51.9	1,351	71.9	132	92.1	1,720										
1981/82	3,641	49.8	1,342	87.1	177	96.5	1,115										
1982/83	3,782	72.2	1,464	79.7	172	96.9	1,768										
1983/84	3,971	66.1	1,496	80.2	165	96.9	2,318										
1984/85			1,518	77.5	215	95.1	2,039										
1985/86							2,908										
							2,100										
							75.4										
							3,669										
							529										
							634										
							872										
							997										
							965										
							6										
							183										
							6										
							0.6										
							0.0										
							19.0										
							0.0										
							529										
							496										
							589										
							391										
							686										
							639										
							720										
							524										
							1,097										
							504										
							2,006										
							1,369										
							84.1										
							68.6										
							76.1										
							90.7										

Source: Junta Nacional de Granos, Anuario 1981, 1981 and 1984.

Notes: 1) Commercial year

2) Total Demand is export plus domestic use.

表4.2 農業生産額に占める主要作物の割合

Cuadro 7. Argentina: Participación de los principales cultivos en el valor de la producción agrícola, 1960-1980 (porcentajes)

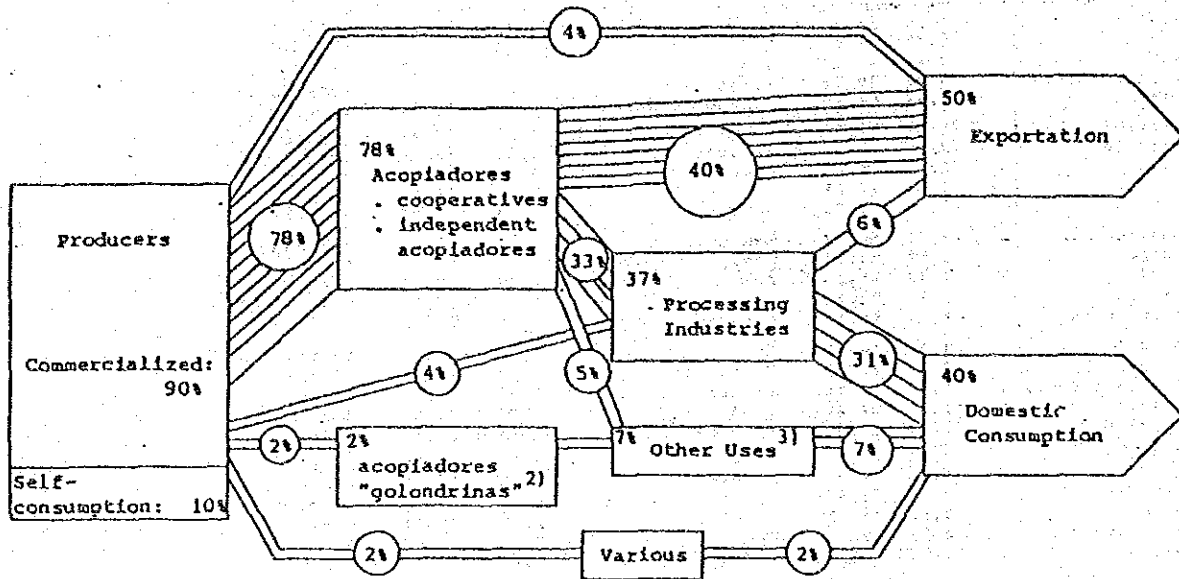
Cultivos	1960.		Cultivos	1970/71		Cultivos	1979/80	
	VBP	Acumulado		VBP	Acumulado		VBP	Acumulado
1 Maíz	12,59	12,59	Maíz	18,58	18,68	Soya	12,40	12,40
2 Trigo	11,47	24,06	Trigo	11,76	30,44	Trigo	12,20	24,60
3 Vid	7,97	32,03	Vid	7,94	38,38	Maíz	11,85	36,45
4 Caña de azúcar	7,29	39,32	Sorgo	5,95	44,33	Caña de azúcar	7,11	43,56
5 Algodón	3,63	42,95	Caña de azúcar	5,50	49,83	Vid	6,87	50,43
6 Girasol	3,37	46,32	Girasol	4,60	54,43	Girasol	4,87	55,30
7 Naranja	2,90	49,22	Naranja	4,00	58,43	Sorgo	4,83	60,13
8 Papa	2,89	52,11	Algodón	2,68	61,11	Manzana	3,75	63,88
9 Tomate	2,87	54,98	Tomate	2,47	63,58	Algodón	2,71	66,59
10 Lino	2,85	57,83	Lino	2,38	65,96	Tomate	2,35	68,94
11 Manzana	2,85	60,68	Manzana	2,38	68,34	Naranja	2,21	71,15
12 Sorgo	2,30	62,98	Maní	2,31	70,65	Lino	1,87	73,02
13 Maní	2,30	65,28	Papa	2,27	72,92	Maní	1,60	74,62
14 Tabaco	1,96	67,24	Tabaco	2,12	75,04	Tabaco	1,37	75,99
15 Yerba mate	1,88	69,12	Durazno	1,36	76,40	Papa	1,30	77,29
16 Avena	3,34	70,46	Arroz	1,12	77,52	Yerba mate	1,19	78,48
17 Durazno	1,22	71,68	Yerba mate	1,02	78,54	Limón	1,19	79,67
18 Cebada cervecera	1,13	72,81	Batata	0,96	79,50	Poroto seco	1,04	80,71
19 Batata	1,07	73,88	Limón	0,89	80,39	Durazno	0,92	81,63
20 Zapallo	1,06	74,92	Zapallo	0,84	81,23	Arroz	0,69	82,32
21 Centeno	0,89	75,91	Oliivo	0,79	82,02	Zapallo	0,58	82,90
22 Mandarina	0,80	76,71	Mandarina	0,79	82,81	Pimienta	0,55	83,45
23 Cebolla	0,79	77,50	Mandoca	0,77	83,58	Mandarina	0,49	83,94
24 Arroz	0,65	78,15	Pomelo	0,62	84,20	Batata	0,49	84,43
25 Pimiento y aji	0,63	78,78	Te	0,58	84,78	Avena	0,49	84,91
Resto	21,22	100,00	Resto	15,22	100,00	Resto	15,08	100,00
TOTAL	(515,93)			(658,00)			(921,58)	

Fuente: Elaboración propia sobre información del Banco Canadense, Banco Central y Secretaría de Agricultura y Ganadería.

Nota: VBP: valor bruto producción a precios 1970.

図4.1 穀物の流通経路

Marketing Channels of Grains¹⁾



Source: Coscia, Adolfo A., Comercializacion de Granos, 1980

Notes : 1) Figures show estimated shares in the total production volume.

2) Acopiadores "golondrinas" (swallows) are those who have no establishment at a fixed place, normally conducting purchase and payment simultaneously, including some cases without commercial documents.

3) Here, the grains have already reached end-use stages, mainly as animal feed.

表4.3.1 主な野菜、果実の作付・収穫面積および生産量

FRUTALES

Producción en miles de toneladas

Período	Membrillo									
	Total	Buenos Aires	Catamarca	Córdoba	La Rioja	Mendoza	Río Negro	San Juan	Resto del país	
1982/83*	17,0	0,6	2,9	1,0	0,5	4,3	3,9	2,6	1,2	
1983/84*	20,3	0,3	3,0	0,8	0,4	9,8	2,5	2,6	0,9	
1984/85*	20,4	0,4	3,0	0,8	0,4	9,0	2,4	3,0	1,4	
1985/86*	18,8	0,3	3,0	0,7	0,4	9,1	1,4	3,0	0,9	
1986/87*	15,0	0,3	3,1	0,7	0,5	5,0	1,6	3,0	0,8	

Período	Naranja										
	Total	Buenos Aires	Corrientes	Entre Ríos	Jujuy	Misiones	Salta	Santa Fe	Santiago del Estero	Tucumán	Resto del país
1981/82	606,0	50,9	215,0	95,7	38,0	50,0	47,0	15,0	9,5	74,0	10,9
1982/83*	639,0	56,0	232,5	137,5	37,1	23,7	49,2	14,4	10,0	69,7	8,9
1983/84*	539,6	61,9	165,0	104,2	34,4	24,0	48,3	11,9	10,0	71,5	8,4
1984/85*	652,8	62,0	250,0	135,0	36,9	23,8	49,6	12,0	10,1	65,0	8,4
1985/86*	623,2	62,2	201,2	139,5	44,1	18,1	54,0	12,7	10,1	73,1	8,2

Período	Pomelo									
	Total	Buenos Aires	Corrientes	Entre Ríos	Formosa	Jujuy	Salta	Santiago del Estero	Tucumán	Resto del país
1981/82	147,6	3,8	22,0	35,0	7,0	4,6	35,0	5,0	23,7	11,5
1982/83*	147,0	4,5	13,1	48,2	2,2	5,8	37,0	5,0	22,4	8,8
1983/84*	145,0	4,7	11,0	41,7	5,4	5,5	36,0	5,2	23,6	11,9
1984/85*	157,3	4,8	18,0	43,0	9,0	6,4	38,0	5,3	21,8	11,0
1985/86*	177,9	5,9	20,2	48,8	9,9	7,5	42,0	5,6	24,0	14,0

Período	Uva									
	Total	Buenos Aires	Catamarca	Córdoba	La Rioja	Mendoza	Río Negro	Salta	San Juan	Resto del país
1981/82	3.571,0	2,2	45,0	8,5	83,2	2.322,7	82,7	12,7	1.000,0	14,0
1982/83*	3.547,0	2,9	46,0	14,9	82,4	2.330,0	98,0	13,9	945,0	13,9
1983/84*	2.746,0	0,5	21,6	7,8	47,0	1.820,0	58,0	16,0	770,0	5,1
1984/85*	2.279,0	-	26,2	10,4	55,4	1.284,7	61,7	19,9	815,0	5,7
1985/86*	2.411,0	-	25,8	8,9	96,7	1.452,0	24,2	17,0	783,0	3,4

表4.3.2 主な野菜、果実の作付・収穫面積および生産量（続き）

HORTALIZAS

Periodo	Melón									
	Total	Buenos Aires	Corrientes	Formosa	Mendoza	San Juan	San Luis	Santa Fe	Santiago del Estero	Resto del país

SUPERFICIE SEMBRADA

Hectáreas

1981/82	5.500	220	460	450	446	680	276	117	2.095	756
1982/83*	5.340	100	255	450	500	970	275	110	2.060	620
1983/84*	5.600	230	250	500	540	990	260	90	2.015	725
1984/85*	5.600	210	230	430	550	950	280	88	2.100	762
1985/86*	5.650	200	220	300	590	1.000	288	91	2.200	761

SUPERFICIE COSECHADA

Hectáreas

1981/82	4.700	220	450	450	446	560	273	117	1.468	716
1982/83*	4.940	100	180	350	495	780	275	110	2.060	580
1983/84*	5.300	220	177	500	540	800	260	90	2.015	698
1984/85*	5.340	210	220	430	550	800	255	88	2.050	737
1985/86*	5.540	200	220	300	590	970	284	91	2.150	735

PRODUCCIÓN

Miles de toneladas

1981/82	53,0	2,0	2,9	3,2	6,6	10,0	2,7	1,2	19,6	4,8
1982/83*	62,5	1,1	0,9	2,8	7,0	15,0	2,8	0,9	28,0	4,0
1983/84*	64,0	2,0	0,9	3,5	7,3	14,9	2,6	0,8	27,0	5,0
1984/85*	62,5	2,0	1,2	3,0	7,5	14,5	2,5	0,7	26,5	4,6
1985/86*	70,6	2,2	1,4	2,2	8,4	16,5	2,8	0,8	30,0	6,3

Periodo	Papa temprana							Papa semitemprana		
	Total	Corrientes	Chaco	Formosa	Salta	Tucumán	Resto del país	Total	Buenos Aires	Córdoba

SUPERFICIE SEMBRADA

Hectáreas

Miles de hectáreas

1981/82	6.240	620	440	1.430	165	3.480	105	19,0	1,9	8,3
1982/83*	6.950	480	300	1.750	210	4.100	110	15,7	1,6	6,2
1983/84*	6.900	860	115	620	195	4.960	150	22,0	1,5	10,6
1984/85*	6.100	225	100	410	185	5.030	150	20,2	1,7	9,2
1985/86*	6.700	910	150	310	200	5.050	80	21,1	1,8	9,6

SUPERFICIE COSECHADA

Hectáreas

Miles de hectáreas

1981/82	6.220	600	440	1.430	165	3.480	105	17,6	1,9	7,3
1982/83*	6.750	400	260	1.750	210	4.020	110	15,5	1,5	6,1
1983/84*	6.500	740	115	440	195	4.860	150	21,4	1,5	10,1
1984/85*	5.835	180	100	220	185	5.000	150	19,8	1,7	9,2
1985/86*	6.679	910	150	310	200	5.029	80	20,6	1,7	9,5

PRODUCCIÓN

Miles de toneladas

1981/82	79,6	2,3	2,3	8,3	2,5	62,6	1,6	203,3	23,6	101,5
1982/83*	84,5	2,0	1,7	8,4	3,1	67,8	1,5	220,1	19,9	96,6
1983/84*	110,0	3,6	0,7	3,5	1,9	98,1	2,2	263,0	20,0	113,9
1984/85*	114,8	0,8	0,4	1,8	2,3	107,3	2,2	324,8	18,0	183,7
1985/86*	116,3	4,8	0,8	2,7	2,0	105,0	1,0	298,5	16,8	185,3

Nota: Cifras actualizadas al 31 de diciembre de 1987. Fuente: Secretaría de Agricultura, Ganadería y Pesca.

表4.3.3 主な野菜、果実の作付・収穫面積および生産量（続き）

HORTALIZAS

Período	Batata					Cebolla primicia					
	Misiones	Santa Fe	Santiago del Estero	Tucumán	Resto del país	Total	Jujuy	Salta	San Juan	Santiago del Estero	Resto del país

SUPERFICIE SEMBRADA

Período	Miles de hectáreas					Hectáreas					
	Misiones	Santa Fe	Santiago del Estero	Tucumán	Resto del país	Total	Jujuy	Salta	San Juan	Santiago del Estero	Resto del país
1981/82	0,4	0,6	13,3	2,9	0,6	4.500	190	260	500	3.100	450
1982/83*	0,6	0,6	13,4	2,7	0,6	4.980	185	300	520	3.450	525
1983/84*	0,4	0,7	13,3	2,6	0,7	5.900	130	380	855	4.000	535
1984/85*	0,5	0,7	14,0	2,5	0,7
1985/86*	0,5	0,7	13,8	2,5	0,5

SUPERFICIE COSECHADA

Período	Miles de hectáreas					Hectáreas					
	Misiones	Santa Fe	Santiago del Estero	Tucumán	Resto del país	Total	Jujuy	Salta	San Juan	Santiago del Estero	Resto del país
1981/82	0,4	0,6	13,3	2,9	0,5	4.100	190	260	500	2.700	450
1982/83*	0,5	0,6	13,3	2,5	0,6	4.970	185	300	520	3.450	515
1983/84*	0,4	0,7	13,3	2,3	0,6	5.840	130	380	855	4.000	475
1984/85*	0,5	0,7	14,0	2,3	0,7
1985/86*	0,5	0,7	13,8	2,5	0,5

PRODUCCION

Período	Miles de toneladas										
	Misiones	Santa Fe	Santiago del Estero	Tucumán	Resto del país	Total	Jujuy	Salta	San Juan	Santiago del Estero	Resto del país
1981/82	2,4	6,7	118,4	35,3	4,7	59,2	3,1	4,4	15,4	32,5	3,8
1982/83*	3,0	6,5	118,8	29,3	5,7	73,5	3,2	5,1	19,2	41,4	4,6
1983/84*	2,7	7,9	118,7	27,4	6,0	90,8	3,0	6,5	30,2	46,2	4,9
1984/85*	2,8	8,0	143,4	27,2	5,9
1985/86*	3,0	8,1	140,1	30,1	5,8

Período	Cebolla de época					Frutilla				
	Total	Buenos Aires	Mendoza	San Juan	Resto del país	Total	Buenos Aires	Corrientes	Santa Fe	Resto del país

SUPERFICIE SEMBRADA

Período	Hectáreas									
	Total	Buenos Aires	Mendoza	San Juan	Resto del país	Total	Buenos Aires	Corrientes	Santa Fe	Resto del país
1980/81	7.800	1.620	1.760	1.920	2.500	1.100	310	180	480	130
1981/82	10.300	1.800	2.890	3.270	2.340	1.060	230	207	500	123
1982/83*	10.600	1.900	3.200	3.200	2.300	990	235	187	445	123
1983/84*	10.850	2.150	3.230	3.250	2.220	1.060	290	210	470	90
1984/85*	1.070	275	215	480	100

SUPERFICIE COSECHADA

Período	Hectáreas									
	Total	Buenos Aires	Mendoza	San Juan	Resto del país	Total	Buenos Aires	Corrientes	Santa Fe	Resto del país
1980/81	7.100	1.430	1.760	1.720	2.190	1.100	310	180	480	130
1981/82	9.700	1.800	2.890	2.690	2.320	1.060	230	207	500	123
1982/83*	10.300	1.900	3.130	2.970	2.300	990	235	187	445	123
1983/84*	10.770	2.150	3.230	3.250	2.140	1.000	290	192	428	90
1984/85*	1.068	275	215	480	98

PRODUCCION

Período	Miles de toneladas					Toneladas				
	Total	Buenos Aires	Mendoza	San Juan	Resto del país	Total	Buenos Aires	Corrientes	Santa Fe	Resto del país
1980/81	132,6	28,8	34,5	41,4	27,9	5.400	1.200	1.110	2.150	940
1981/82	178,0	23,7	59,0	57,0	38,3	6.000	1.100	1.500	2.500	900
1982/83*	223,5	50,2	62,0	73,8	37,5	5.750	1.180	1.290	2.260	1.020
1983/84*	207,0	24,0	63,9	83,4	35,7	5.300	1.230	1.200	2.200	670
1984/85*	5.600	1.111	1.250	2.480	759

Nota: Cifras actualizadas al 31 de diciembre de 1987. Fuente: Secretaría de Agricultura, Ganadería y Pesca.

表4.3.4 主な野菜、果実の作付・収穫面積および生産量（続き）

HORTALIZAS

Periodo	Papa tardía				Pimiento primicia				
	Mendoza	Santa Fe	Tucumán	Resto del país	Total	Corrientes	Jujuy	Salta	Resto del país

SUPERFICIE SEMBRADA

Hectáreas

1981/82	370	4.200	300	50	2.700	400	670	1.300	330
1982/83*	-	3.900	290	30	2.240	481	485	965	309
1983/84*	-	3.100	260	-	2.270	282	520	1.200	268
1984/85*	-	3.000	275	25	1.850	380	360	900	210
1985/86*	-	2.470	300	20	2.520	400	750	1.200	170

SUPERFICIE COSECHADA

Hectáreas

1981/82	317	4.200	255	48	2.600	360	650	1.280	310
1982/83*	-	3.830	260	30	2.235	481	485	965	304
1983/84*	-	2.600	250	-	2.130	282	520	1.200	128
1984/85*	-	3.000	265	25	1.480	380	245	650	205
1985/86*	-	700	285	20	2.520	400	750	1.200	170

PRODUCCION

Miles de toneladas

1981/82	3,7	54,5	4,3	0,5	35,8	2,5	10,8	21,6	0,9
1982/83*	-	63,1	4,1	0,3	30,5	4,9	8,2	16,3	1,1
1983/84*	-	38,0	4,2	-	24,5	1,8	6,7	15,5	0,5
1984/85*	-	43,5	4,3	0,2	13,9	3,8	2,4	6,5	1,2
1985/86*	-	6,5	4,8	0,2	32,0	4,0	10,3	16,8	0,9

Periodo	Pimiento de época									
	Total	Buenos Aires	Catamarca	Córdoba	Chaco	La Rioja	Mendoza	Río Negro	Tucumán	Resto del país

SUPERFICIE CULTIVADA

Hectáreas

1981/82	6.700	940	340	350	500	140	2.440	161	1.300	529
1982/83*	6.570	700	392	350	500	158	2.245	150	1.460	615
1983/84*	6.200	960	380	380	473	180	1.540	110	1.475	702
1984/85*	6.300	1.000	400	350	480	260	1.400	108	1.485	817
1985/86*	6.350	980	450	250	520	270	1.405	65	1.500	910

SUPERFICIE COSECHADA

Hectáreas

1981/82	6.370	940	340	320	500	140	2.440	113	1.060	517
1982/83*	6.350	700	392	310	400	158	2.245	135	1.400	610
1983/84*	6.050	920	380	380	473	180	1.540	100	1.395	682
1984/85*	6.090	950	400	340	470	260	1.400	71	1.400	799
1985/86*	6.220	960	450	250	510	270	1.355	65	1.460	900

PRODUCCION

Toneladas

1981/82	49.200	8.100	4.300	2.200	3.400	1.200	14.600	900	10.800	3.700
1982/83*	49.300	5.740	5.140	1.950	1.420	1.695	11.220	966	16.770	4.399
1983/84*	49.500	8.300	4.800	2.500	1.900	2.000	7.550	675	16.850	4.925
1984/85*	51.500	8.900	5.300	2.400	2.800	2.600	7.200	440	16.820	5.040
1985/86*	54.700	9.600	6.000	2.460	3.400	2.700	7.545	470	17.500	5.025

Nota: Cifras actualizadas al 31 de diciembre de 1987. Fuente: Secretaría de Agricultura, Ganadería y Pesca.

表4.3.5 主な野菜、果実の作付・収穫面積および生産量（続き）

HORTALIZAS

Período	Pimiento seco				Poroto chaucha				
	Total	Catamarca	Salta	Resto del país	Total	Buenos Aires	Jujuy	Mendoza	Salta

SUPERFICIE SEMBRADA

Hectáreas

1981/82	1.350	640	460	250	4.200	1.120	260	400	400
1982/83*	1.940	590	1.100	250	4.500	1.200	255	376	390
1983/84*	2.210	1.190	800	220	3.970	930	330	385	345
1984/85*	2.670	1.340	1.100	230
1985/86*	2.660	1.380	1.100	180

SUPERFICIE COSECHADA

Hectáreas

1981/82	1.295	640	460	195	4.170	1.120	260	400	400
1982/83*	1.860	530	1.100	230	4.400	1.187	255	369	390
1983/84*	2.025	1.090	730	205	3.890	930	330	385	345
1984/85*	2.584	1.260	1.100	224
1985/86*	2.620	1.345	1.100	175

PRODUCCION

Toneladas

Miles de toneladas

1981/82	1.430	790	442	198	38,6	19,5	1,9	2,7	3,2
1982/83*	1.910	430	1.230	250	38,1	18,5	1,9	2,4	3,1
1983/84*	2.110	1.085	810	215	33,2	14,5	2,8	2,4	2,7
1984/85*	2.830	1.200	1.400	230
1985/86*	2.950	1.400	1.350	200

Período	Poroto chaucha			Poroto verde					
	Santa Fe	Tucumán	Resto del país	Total	Buenos Aires	Formosa	Mendoza	San Juan	Resto del país

SUPERFICIE SEMBRADA

Hectáreas

1979/80	310	1.500	320	750	100	170	350	20	110
1980/81	335	1.530	272	630	100	157	350	16	7
1981/82*	300	1.480	240	580	90	158	310	16	6
1982/83*	300	1.500	479	510	87	132	275	11	5
1983/84*	250	1.470	260	474	80	65	324	-	5

SUPERFICIE COSECHADA

Hectáreas

1979/80	300	1.430	300	750	100	170	350	20	110
1980/81	335	1.530	262	630	100	157	350	16	7
1981/82*	300	1.450	240	580	90	158	310	16	6
1982/83*	288	1.437	474	510	87	132	275	11	5
1983/84*	250	1.390	260	474	80	65	324	-	5

PRODUCCION

Miles de toneladas

1979/80	1,3	8,6	1,5	4,0	0,2	0,4	2,9	0,1	0,4
1980/81	1,3	9,2	1,1	3,4	0,2	0,4	2,7	0,1	-
1981/82*	1,2	9,0	1,1	3,0	0,2	0,4	2,3	0,1	-
1982/83*	1,0	9,0	2,2	2,9	0,2	0,4	2,2	0,1	-
1983/84*	0,8	8,8	1,2	2,9	0,2	0,2	2,5	-	-

Nota: Cifras actualizadas al 31 de diciembre de 1987. Fuente: Secretaría de Agricultura, Ganadería y Pesca.

表4.3.6: 主な野菜、果実の作付・収穫面積および生産量(続き)

HORTALIZAS

Periodo	Poroto seco							Sandía				
	Total	Córdoba	Jujuy	Salta	Santiago del Estero	Tucumán	Resto del país	Total	Corrientes	Chaco	Entre Ríos	Formosa
SUPERFICIE SEMBRADA												
Miles de hectáreas												
1980/81	221,8	5,0	9,0	137,5	37,0	25,0	8,3	11,0	4,5	0,6	0,6	0,8
1981/82*	235,5	4,9	7,0	156,5	43,4	16,0	7,7	11,1	4,5	0,3	0,6	1,0
1982/83*	228,6	5,0	15,0	144,6	39,4	17,3	7,3	9,6	3,1	0,5	0,6	0,9
1983/84*	210,0	5,4	13,7	130,0	33,6	17,0	10,3	8,5	2,8	0,3	0,5	0,9
1984/85*	193,2	5,3	14,0	120,0	32,0	12,6	9,3
SUPERFICIE COSECHADA												
Miles de hectáreas												
1980/81	211,4	5,0	9,0	128,3	37,0	24,0	8,1	8,9	3,2	0,4	0,5	0,8
1981/82*	229,7	4,9	7,0	150,9	43,4	15,8	7,7	10,4	4,5	0,3	0,6	1,0
1982/83*	199,9	5,0	11,0	122,9	39,4	16,1	5,5	7,9	1,8	0,5	0,5	0,9
1983/84*	184,8	5,1	13,2	109,5	33,6	16,1	8,3	8,0	2,7	0,3	0,5	0,9
1984/85*	191,4	5,0	14,0	120,0	31,1	12,5	8,8
PRODUCCION												
Miles de toneladas												
1980/81	224,0	5,0	9,7	125,6	49,9	25,4	8,4	112,5	29,2	2,2	5,3	10,7
1981/82*	254,0	5,4	7,1	157,8	59,0	16,5	8,2	138,0	49,2	1,6	5,6	13,3
1982/83*	216,5	6,1	13,2	128,4	47,9	14,2	6,7	121,5	19,7	3,0	5,2	20,0
1983/84*	191,2	6,1	13,2	110,0	39,4	13,8	8,7	110,6	29,6	2,3	5,1	11,0
1984/85*	198,3	5,8	14,0	120,5	36,7	12,9	8,4

Periodo	Sandía					Tomate primicia				
	Mendoza	Santa Fe	Santiago del Estero	Tucumán	Resto del país	Total	Corrientes	Jujuy	Salta	Resto del país
SUPERFICIE SEMBRADA										
Miles de hectáreas					Hectáreas					
1981/82	0,2	0,2	1,9	0,8	1,6	4.000	810	1.100	1.800	290
1982/83*	0,3	0,2	1,9	0,5	1,6	5.000	1.300	1.000	2.450	250
1983/84*	0,3	0,2	1,9	0,5	1,1	4.530	810	1.160	2.350	210
1984/85*	3.920	680	1.005	2.000	235
1985/86*	4.430	650	1.500	2.100	180
SUPERFICIE COSECHADA										
Miles de hectáreas					Hectáreas					
1981/82	0,2	0,2	1,3	0,8	1,5	3.660	520	1.100	1.800	240
1982/83*	0,3	0,2	1,9	0,4	1,4	4.995	1.295	1.000	2.450	250
1983/84*	0,3	0,2	1,6	0,4	1,1	4.000	675	930	2.350	45
1984/85*	3.800	650	1.000	2.000	150
1985/86*	4.360	620	1.500	2.100	140
PRODUCCION										
Miles de toneladas										
1981/82	3,8	3,8	29,0	11,3	20,4	78,7	10,5	25,3	41,1	1,8
1982/83*	4,5	3,2	41,1	4,8	20,0	130,4	36,2	25,0	67,5	1,7
1983/84*	4,4	2,5	35,0	5,1	15,6	94,3	13,5	22,3	57,9	0,6
1984/85*	98,0	13,0	28,0	55,7	1,3
1985/86*	121,4	13,7	43,5	63,0	1,2

Nota: Cifras actualizadas al 31 de diciembre de 1987. Fuente: Secretaría de Agricultura, Ganadería y Pesca.

表4.3.7 主な野菜、果実の作付・収穫面積および生産量（続き）

HORTALIZAS

Período	Tomate de época								
	Total	Buenos Aires	Mendoza	Río Negro	San Juan	Santa Fe	Santiago del Estero	Tucumán	Resto del país
SUPERFICIE SEMBRADA									
Miles de hectáreas									
1981/82	25,8	2,6	9,0	5,1	2,0	0,7	3,8	0,6	2,0
1982/83*	26,7	2,1	9,6	5,1	2,7	0,9	3,9	0,5	1,9
1983/84*	29,7	3,7	8,1	4,0	2,8	0,6	7,7	0,5	2,3
1984/85*	35,0	4,0	12,2	4,3	2,8	1,0	7,8	0,5	2,4
1985/86*	34,3	4,5	10,7	4,4	2,9	1,0	7,7	0,5	2,6
SUPERFICIE COSECHADA									
Miles de hectáreas									
1981/82	23,7	2,6	9,0	4,2	1,5	0,7	3,1	0,6	2,0
1982/83*	26,0	2,1	9,6	5,1	2,1	0,9	3,9	0,5	1,8
1983/84*	26,5	3,7	7,0	3,7	2,8	0,5	6,3	0,4	2,1
1984/85*	32,9	4,0	11,6	4,0	2,8	0,8	7,0	0,4	2,3
1985/86*	33,6	4,5	10,4	4,3	2,9	0,9	7,5	0,5	2,6
PRODUCCION									
Miles de toneladas									
1981/82	494,0	90,5	150,0	89,9	33,6	27,1	60,0	11,2	31,7
1982/83*	480,5	64,0	145,6	85,9	38,8	34,4	69,0	10,3	32,5
1983/84*	494,4	134,0	90,7	50,4	30,0	20,0	123,5	10,8	35,0
1984/85*	653,3	140,0	195,0	73,0	31,0	29,0	135,4	10,4	39,5
1985/86*	703,0	165,0	192,0	78,3	31,5	33,0	146,3	11,5	45,4

Período	Zapallo											
	Total	Buenos Aires	Córdoba	Corrientes	Chaco	Mendoza	Misiones	Salta	Santa Fe	Santiago del Estero	Tucumán	Resto del país
SUPERFICIE SEMBRADA												
Miles de hectáreas												
1979/80	35,4	2,6	5,2	1,1	1,2	1,2	1,2	1,5	2,6	12,6	3,2	3,0
1980/81	36,5	2,7	5,5	1,0	1,2	1,3	1,1	1,7	2,7	12,7	3,1	3,5
1981/82*	36,1	2,8	4,8	1,1	0,9	1,6	1,2	1,7	2,7	12,7	3,1	3,5
1982/83*	35,4	2,6	3,0	1,0	1,1	1,6	1,2	2,5	2,8	12,6	3,2	3,8
1983/84*	35,4	3,6	2,8	1,8	1,4	2,9	2,1	...	2,5	18,3
SUPERFICIE COSECHADA												
Miles de hectáreas												
1979/80	34,8	2,6	5,2	1,0	1,1	1,2	1,2	1,5	2,5	12,6	3,0	2,9
1980/81	28,0	2,7	1,7	1,0	0,6	1,3	1,1	1,7	2,3	10,1	2,9	2,6
1981/82*	35,6	2,8	4,8	1,1	0,9	1,6	1,1	1,7	2,5	12,7	3,0	3,4
1982/83*	33,5	2,5	2,9	0,7	0,5	1,6	1,0	2,5	2,6	12,6	3,0	3,6
1983/84
PRODUCCION												
Miles de toneladas												
1979/80	364,0	46,3	66,0	8,0	11,1	24,4	4,9	8,8	23,7	107,6	27,0	36,2
1980/81	274,0	52,0	9,1	7,4	4,5	26,2	4,5	11,2	22,0	86,0	26,4	24,7
1981/82*	366,2	52,7	58,7	9,7	8,5	30,9	4,7	11,2	24,0	105,2	28,1	32,5
1982/83*	332,7	46,3	18,5	3,9	3,2	29,3	3,6	21,6	24,8	105,1	28,1	48,3
1983/84

Nota: Cifras actualizadas al 31 de diciembre de 1987. Fuente: Secretaría de Agricultura, Ganadería y Pesca.

2) 畜産物流通

アルゼンティン国には、1985年時で牛53,500,000頭、羊26,114,000頭が飼育されているといわれている。畜産業の中心は肉牛であるが、年間約13百万頭程度が屠殺され、その約80%~90%が国内消費されている（表4.4）。アルゼンティン国は、世界で最も食肉消費の多い国で、1人当り年間消費量は約90kgとなっている（表4.5）。

食肉の流通には次の2タイプがある。

- i) SEAGYPの管轄下にある中央市場及び地方政府の管轄下にある地方公共市場（remates ferias）を經由するもの。中央市場はBuenos Aires（Liniers, Rosario, Santa Fe, Cordoba）にあり、登録された取引の約30%を占める。しかし、そのさらに90%はLiniers市場に集中している。地方公共市場は、登録された取引の約60%を占める。
- ii) 生産者と仲買人あるいは加工業者との両者の交渉によるもの。市場に占める割合は10%程度である。

また仲買人のタイプとしては次の2タイプがある。

- i) 生産者からコミッションをとって、加工業者等へ販売するもの（Consignatario）。
- ii) 生産者から家畜を買いとり、屠殺場あるいは食肉処理場（frigorifico）で屠殺したのち、小売業者へ販売するもの（matarife）。

図 3.6.2に主な流通ルートを示す。

食肉の輸出については、近年におけるブラジル、ECの輸出増により急激に減少し、世界市場におけるアルゼンティン国のシェアは大幅に低下した。世界全体の食肉貿易需要量は大きく変わっていないという事実もあり、アルゼンティン国の将来の食肉輸出増のためには、これらの国との競合は避けられない。表 4.5 ~ 4.9) に牛肉にかかわる主要な輸出統計を示す。

表4.4 牛肉生産の推移

Trend of Livestock Cycles in Beef Production

Year	Total Slaughterers (million heads)	Price Index of Steaks 1)	% of Female Slaughterers	Exports (% in heads)	Domestic Consum.	Average Export Price (bone-in carcass; US\$/ton)	Average Net Weight per head (kg)	Beef Production (1,000 tons)
1959	9.1	108	43	27	73	n.d.	213	1,944
1960	9.9	100	42	26	80	n.d.	213	1,893
1961	10.2	87	45	19	81	340	210	2,145
1962	11.8	85	50	23	77	290	203	2,379
1963	12.9	93	49	28	72	310	202	2,605
1964	9.4	124	40	29	71	500	216	2,019
1965	9.1	116	40	25	75	620	218	1,995
1966	11.1	101	44	25	75	550	210	2,321
1967	12.5	100	48	28	72	440	201	2,522
1968	12.8	94	50	24	76	440	200	2,561
1969	13.8	90	45	27	73	442	209	2,883
1970	12.9	116	46	26	74	498	203	2,624
1971	9.5	157	42	25	75	736	211	2,001
1972	10.0	149	39	32	68	834	219	2,191
1973	9.8	141	39	25	75	1,195	219	2,149
1974	10.1	111	40	14	86	1,144	214	2,163
1975	12.1	74	45	11	89	765	201	2,439
1976	13.9	87	46	19	81	705	203	2,611
1977	14.7	96	47	21	79	801	198	2,914
1978	16.3	86	49	23	77	828	200	3,146
1979	15.2	112	47	21	79	1,417	198	3,020
1980	13.8	97	41	18	84	1,649	205	2,839
1981	14.6	80	44	18	82	1,523	200	2,939
1982	12.4	107	42	20	80	1,199	206	2,551
1983	11.2	101	40	17	83	1,162	212	2,390
1984	12.3	96	43	10	90	1,204	208	2,558
1985 2)	13.7	66	46	10	90	1,115	196	2,740
1986 3)	13.0	-	-	-	-	1,200	206	2,680

Source: Junta Nacional de Carnes

Notes: 1) 1960 = 100, prices at Liniers Market.

2) Provisional

3) Estimate

表4.5

牛肉の一人当り消費量の推移

ANO	ENERO	FEBRERO	MARZO	ABRIL	MAYO	JUNIO	JULIO	AGOSTO	SETBRE	OCTBRE	NOVE.	DICB.	X ANNL
1960	67.2	63.6	74.4	70.8	79.2	78.-	75.6	84.-	76.8	81.6	76.8	86.4	76.2
1961	85.2	74.4	85.2	87.6	93.6	94.8	93.6	100.8	91.2	93.6	80.4	82.8	88.6
1962	87.6	80.4	96.-	93.6	98.4	99.6	97.2	85.2	78.-	97.2	100.8	88.8	91.9
1963	84.-	73.2	81.6	79.2	84.-	73.2	84.-	84.-	84.-	88.8	87.6	78.-	81.8
1964	78.-	75.6	79.2	79.2	67.2	55.2	66.-	60.-	67.2	46.8	64.8	73.2	67.7
1965	62.4	61.2	72.-	72.-	70.8	75.6	69.6	73.2	72.-	69.6	79.2	76.8	71.2
1966	69.6	69.6	87.6	76.8	91.2	87.6	81.6	93.6	96.-	93.6	94.8	92.4	86.2
1967	87.6	79.2	86.4	88.8	97.2	94.8	92.4	94.8	90.-	84.-	82.8	84.-	88.5
1968	81.6	72.-	85.2	85.2	91.2	81.6	86.4	88.8	87.6	87.6	88.8	90.-	85.5
1969	84.-	70.8	84.-	87.6	86.4	82.8	81.6	84.-	90.-	96.-	90.-	91.2	85.7
1970	80.-	67.8	76.8	87.4	80.8	88.2	83.3	80.8	77.3	63.8	69.8	70.8	77.2
1971	67.2	60.-	57.6	50.4(*)	55.2	63.6	72.-	60.-	62.4	63.6	64.8	74.9	62.6
1972	57.2	46.8	73.1	76.5	67.5	54.3	59.3	58.6	58.8	68.7	63.8	69.-	62.8
1973	53.3	51.7	64.6	65.6	73.4	64.6	76.1	80.7	64.4	83.7	77.7	77.4	69.4
1974	65.9	54.6	75.4	78.2	80.2	67.6	76.9	72.2	86.4	94.2	91.7	95.9	78.2
1975	103.1	89.-	104.8	88.3	92.6	81.2	94.4	89.1	91.8	107.5	89.4	95.4	93.8
1976	105.5	85.4	92.2	85.6	87.4	93.9	92.-	90.4	89.6	93.4	86.6	85.8	90.6
1977	77	80	89	91	97	97	95	94	93	89	96	96	91.2
1978	92	91	95	105	99	100	103	100	98	101	99	98	98.4
1979	91	92	97	97	98	95	93	84	86	89	92	96	92.5
1980	93	91	97	96	96	94	93	98	99	97	101	97	96.-
1981	99	95	102	95	101	94	92	95	93	95	93	83	94.7
1982	81	77	82	79	82	73	65	75	65	66	68	68	73.4
1983	68	63	64	72	76	72	75	78	71	82	78	79	73.2
1984	77	78	78(**)	85	92	93	90	91	83	89	91	88	86.3
1985	84	89	94	90	94	84	82	91	90	88	96	98	90.-
1986	92	95	98	101	102	95	96	95	97	96	98	100	97.2
1987	93	91											
Promedio													
1960/69	78.7	72.-	83.2	82.1	85.9	82.3	82.8	84.8	83.3	83.9	84.6	84.4	82.3
1970/79	79.2	71.8	82.6	82.5	83.1	80.5	84.5	81.-	80.8	85.4	83.1	85.9	81.7
1980/86	84.9	84.-	87.9	88.3	91.9	86.6	84.7	89.-	85.4	87.6	89.3	87.6	87.3

(*) de abril 1971 hasta diciembre 1972 periodo de veda semanales alternados.

(**) Durante toda la semana comenzada el lunes 12 de marzo de 1984, la Sec. Comercio impulso veda de abasto vacuno.

FUENTE: Elaborado por la CGEE. - JNC en base a datos CGC-JNC y Boletín Semanal JNC.

表4.6 牛肉輸出量の推移 (枝肉、1,000t)

ANOS	ENERO	FEBRERO	MARZO	ABRIL	MAYO	JUNIO	JULIO	AGOSTO	SEPTIEMBRE	OCTUBRE	NOVIEMBRE	DICIEMBRE	TOTAL
1970	67	62	60	74	68	78	72	67	63	44	33	27	715
1971	31	20	33	29	43	45	49	45	41	45	38	58	477
1972	49	44	53	58	65	63	66	48	61	65	61	70	703
1973	71	54	57	48	49	40	35	47	35	38	38	39	551
1974	40	29	30	32	33	22	16	19	15	17	21	15	289
1975	21	11	12	15	14	23	22	31	28	27	29	29	262
1976	39	36	26	46	38	56	48	42	47	51	47	51	527
1977	40	34	42	43	54	50	59	47	46	59	58	51	583
1978	45	58	49	78	56	68	58	76	73	61	60	58	740
1979	56	61	59	68	71	68	60	70	45	48	48	43	697
1980	51	49	42	43	42	37	29	29	33	40	39	35	469
1981	34	28	34	33	46	47	43	40	45	37	45	54	486
1982	48	46	50	48	44	42	43	44	46	51	38	22	522
1983	41	35	32	43	35	35	33	40	38	18	37	27	415
1984	26	23	27	20	26	29	22	16	9	17	15	21	250
1985	16	20	19	17	25	29	24	29	22	21	19	20	260
1986	16	22	18	20	20	19	18	22	21	23*	26*	26*	251
1987	26*	25*											

FUENTE : C. G. E. e. I.

(*) cifras provisionales.

表4.7 牛肉輸出額の推移 (US\$ 1,000)

ANOS	ENERO	FEBRERO	MARZO	ABRIL	MAYO	JUNIO	JULIO	AGOS.	SET.	OCT.	NOV.	DIC.	TOTAL
1970	29.2	27.4	26.3	33.6	32.5	39.1	37.7	36.4	34.0	23.8	19.1	17.2	356.3
1971	20.3	13.3	23.2	21.8	32.4	34.7	36	32.4	30.0	34.6	29.6	42.6	350.9
1972	37.0	34.3	42.3	46.5	50.9	51.7	56.1	41.3	53.1	56.9	53.3	63.4	586.8
1973	67.61	54.6	62.9	57.5	60.0	50.3	45.5	60.4	44.6	48.7	51.4	55.6	658.6
1974	52.7	36.2	38.4	40.0	40.6	26.8	16.8	18.3	13.5	15.5	18.2	13.7	330.7
1975	18.6	9.6	10.6	14.0	11.9	18.5	16.3	21.7	20.8	19.0	19.6	19.9	200.5
1976	25.8	25.5	18.0	32.0	28.1	40.6	32.6	30.0	34.0	36.8	33.6	35.1	371.7
1977	30.6	26.8	33.0	34.5	44.2	40.6	48.8	37.4	37.0	46.5	46.8	40.5	466.7
1978	35.2	47.5	39.1	60.0	43.8	55.1	47.1	62.7	58.6	52.7	55.3	55.4	612.5
1979	59.3	70.2	75.9	88.3	95.3	100.7	88.6	101.0	72.3	82.5	84.2	69.4	987.7
1980	82.0	83.6	66.0	69.6	68.5	56.9	48.8	50.6	55.0	69.4	66.3	56.6	773.3
1981	54.4	47.9	54.7	57.8	74.2	73.3	65.1	60.0	67.9	54.9	64.9	64.8	740.
1982	57.7	62.4	62.3	60.9	55.1	48.5	51.0	52.0	49.4	57.2	42.9	26.4	625.8
1983	50.5	41.1	40.3	49.2	39.7	41.1	36.9	44.9	42.4	20.6	44.4	31.1	482.2
1984	31.2	27.1	28.6	23.6	30.3	31.9	26.8	20.0	11.5	23.0	22.9	23.6	300.5
1985	19.6	24.3	23.6	21.1	29.5	30.5	23.3	28.9	21.8	22.0	21.4	23.8	289.8
1986	20.4	25.5	23.8	24.8	25.4	22.3	23.7	31.2	31.2	31.4*	35.2*	37.8*	332.7
1987	37.4*	37.3*											

FUENTE : C.G.E. e I. J.N.C.

(*) cifras provisionarias.

表4.8 品目別平均牛肉輸出額

AÑOS	CUARTOS		CORTES		MANUFACTURA		COCIDA Y CONGELADA	ENLATADA	OTROS ENLAT. ESPECIALIDADE
	enfriados	congelados	enfriados	congelados	c/hueso	s/hueso			
1964	601	504	—	613	529	608	1,190	764	707
1965	653	581	—	844	659	825	1,240	839	782
1966	573	546	—	877	574	724	1,231	860	838
1967	534	493	702	801	494	614	1,093	884	795
1968	601	482	909	775	439	547	1,198	913	815
1969	555	475	958	728	412	486	1,330	876	753
1970	728	526	1,155	816	480	578	1,510	922	960
1971	895	747	1,655	1,218	692	862	1,877	1,415	1,329
1972	1,080	832	1,810	1,301	870	1,084	1,748	1,447	1,284
1973	1,617	1,219	2,544	1,778	1,136	1,508	2,814	1,887	1,910
1974	1,970	1,236	2,469	1,879	—	1,336	2,754	2,483	2,015
1975	819	887	2,315	1,495	430	1,021	1,827	1,645	1,355
1976	898	604	2,014	1,288	455	836	1,792	1,646	1,340
1977	1,178	911	2,105	1,319	768	960	1,979	1,654	1,455
1978	1,164	835	2,316	1,295	727	930	2,055	1,669	1,555
1979	1,960	1,453	2,383	2,406	1,299	1,744	3,540	2,569	2,570
1980	2,013	1,736	5,555	2,618	1,446	2,069	4,297	4,475	3,539
1981	1,711	1,938	4,573	2,783	1,236	1,827	3,176	2,989	2,206
1982	1,395	1,643	3,336	2,156	1,082	1,394	3,183	1,647	2,040
1983	1,477	1,513	3,662	1,926	950	1,301	3,383	2,018	2,031
1984	1,750	1,285	3,710	1,893	853	1,273	3,461	1,921	2,034
1985	—	759	3,588	1,565	739	750	3,168	1,796	1,863
1986	—	—	—	—	917	951	3,247	2,042	2,195

FUENTE: Elaborado por la C.G.E. e.I. - JNC

表4.9 目的地別牛肉輸出量の推移

Destinations	Year																	
	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986 ¹⁾
West Germany	39	62	52	153	106	30	25	73	69	77	57	35	43	51	52	37	43	15
Belgium	22	22	13	15	14	5	2	6	8	10	5	2	3	2	2	1	2	0
France	31	34	27	59	30	9	7	18	20	23	12	8	6	7	7	4	4	2
Netherlands	50	34	15	20	30	10	10	16	23	23	27	14	11	14	13	10	14	5
Italy	54	63	48	60	62	11	13	20	34	28	28	15	17	16	14	5	10	1
U.K.	222	159	112	157	121	70	45	71	66	100	95	68	84	26	-	-	-	0
EC (9)	410	374	267	464	363	135	102	216	220	281	224	142	164	116	88	57	73	23
Chilled + Frozen	333	281	209	393	318	96	40	108	123	132	115	74	67	63	59	36	49	15
Canned + Cooked	85	93	58	71	45	39	62	108	97	129	109	68	77	53	29	21	24	8
Greek	44	45	15	22	21	10	10	36	46	37	42	10	1	3	2	1	1	0
EC (10)	462	419	282	486	384	145	112	252	266	318	266	160	165	119	90	58	74	23
U.S.A. (Including Puerto Rico)	150	142	107	107	88	85	70	99	87	125	114	69	65	84	93	87	103	27
USSR	-	-	-	-	-	29	42	17	48	-	49	131	114	102	90	49	-	-
Israel	23	24	20	20	21	7	16	24	17	31	40	17	23	21	31	12	18	7
Egypt	2	-	-	-	-	-	-	16	6	10	33	8	43	75	35	3	1	0
Algeria	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	3	1	6	14	6	1	2	0
The Rest Africa	-	2	-	-	-	-	2	19	50	57	21	6	5	9	6	2	14	1
Iran	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	4	9	-	-	-	-
Iraq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	23	4	-	-	-
Saudi Arabia	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	6	6	3	2	8	6	4	1
The Rest M.E.	-	-	-	-	-	-	1	1	1	6	19	2	6	4	2	1	1	0
Canary Islands	8	8	8	8	8	5	7	11	16	13	12	5	5	5	5	3	4	1
Austria	-	-	-	-	-	-	1	18	5	11	-	-	1	2	1	0	0	0
Spain	35	35	-	-	-	1	-	15	21	35	15	-	-	-	-	0	0	0
Portugal	1	-	1	-	-	-	-	26	17	4	8	2	-	-	-	-	-	-
Switzerland	15	17	13	15	16	7	3	6	6	12	10	7	9	7	8	6	3	1
East Europe	15	12	-	7	1	-	-	-	3	-	-	-	6	2	3	0	-	-
Brazil	-	1	-	-	5	2	0	3	3	60	70	5	-	-	-	-	1	1
Chile	12	17	37	47	39	-	-	1	9	18	7	9	12	9	2	2	8	1
Peru	8	7	3	4	-	-	-	3	4	1	-	-	6	12	5	6	2	2
Canada	13	7	2	4	3	3	4	5	4	10	6	3	2	2	2	1	2	0
Others	21	24	4	5	6	3	4	11	15	20	17	11	6	21	24	13	23	6
Chilled + Frozen	14	7	3	2	2	1	-	2	3	8	8	3	3	6	5	4	6	2
Canned + Cooked	17	17	1	3	4	4	4	9	12	12	9	8	3	15	19	9	17	4
Total	775	715	477	703	551	289	262	527	583	740	697	469	486	522	415	250	260	71
Total Value (US\$ million)	n.a.	356	351	587	659	331	201	372	467	613	988	773	740	626	482	301	290	
Total Value (1984 constant Price) 2)	n.a.	1,064	955	1,539	1,527	660	355	636	746	908	1,304	898	784	650	495	301	292	
Total Production (1,000 ton)	2,883	2,624	2,001	2,191	2,149	2,163	2,439	2,811	2,914	3,146	3,020	2,839	2,939	2,551	2,390	2,550	2,740	

Source: Junta Nacional de Carnes

Notes: 1) The first quarter

2) These values are adjusted by wholesale price index in the USA (1984 = 100).

4.2 Corrientes州の農産物流通

1) 水稻

Corrientes州の水稻生産は、図4.3 に示すとおり北部パラナ河沿岸、東部Uruguay河沿岸、西部Parara河、Santa Lucia川沿岸、中部Corrientes川沿岸で実施されている。アルゼンティン国における過去10年間の水稻の播種面積、収穫面積、生産量の推移は表 3.6.10に示すとおりであるが、Corrientes州は、Entre Rios州と並び国内の40～50%の生産量を占めている。ただしCorrientes州の単位収量は、3.0t/ha程度で、Entre Rios州の4t/ha以上と比べ、低い値となっている。

Corrientes州内では、1979/80年統計によるとEsquina県の生産量が最も多く、Goya県、Santo tome県がこれに続いている（表4.12）。調査関係県では、以下のとおり5県全体で水稻面積755ha、生産量22,141tで、それぞれ州全体の約21%を占めている。

Corrientes州の水稻生産者の約70%は乾燥施設を保有し、さらに12%は精米施設も有している（表4.10）。このため米の流通段階では、農家から直接に工業施設（establecimientos Industriales）、あるいは農産加工施設（Establecimientos Agro-Industriales）へ販売されている。この場合前者は全体の72%と、主要部分を占めている（表4.13）。

表4.10 Corrientes州の経営規模別施設保有状況

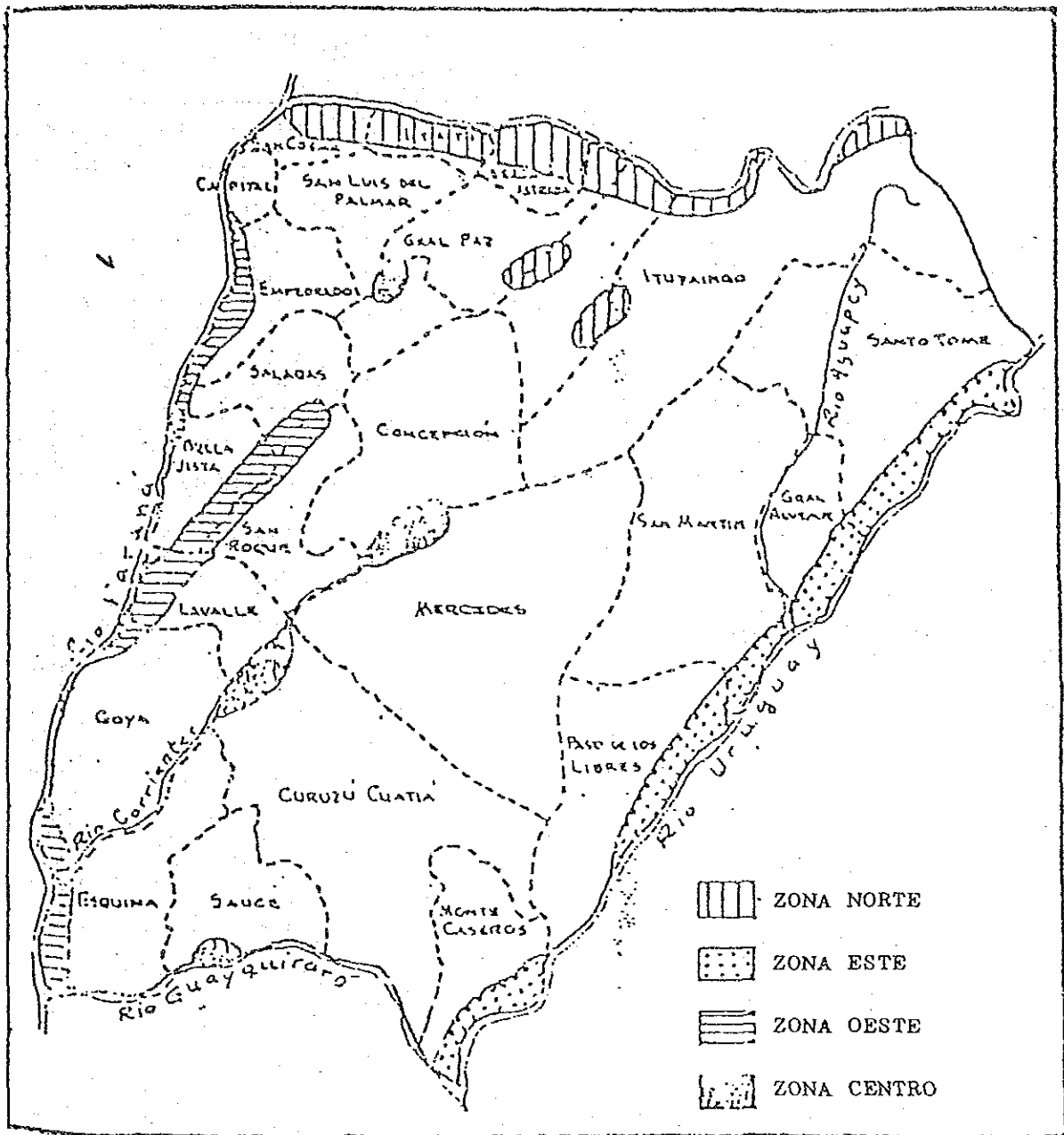
ESTRATOS	TOTAL DE PRODUCTORES		NIVEL DE INTEGRACION					
			SIN MOLINO				CON MOLINO	
	SIN SECADORA		CON SECADORA					
	N°	%	N°	%	N°	%	N°	%
1 - 200 ha	75	32.6	43	18.8	30	13.1	2	0.7
201 - 400 ha	53	23.0	17	7.6	34	14.6	2	0.8
+ de 400 ha	102	44.4	10	4.3	69	30.4	23	10.1
TOTAL	230	100.0	70	30.3	133	58.1	27	11.6

FUENTE: Estacion Experimental Regional gropecuaria Corrientes.

Corrientes州は全国でも最も精米所が多く、全体の50%近くのシェアを占めている。全国の精米所の従業員数は、1987年現在1,500名、うち技術者、事務員は250名、残りは労働者となっている。労働生産性は66.5kg/hr程度であり、若干低下傾向にある（表4.14）。

图4.3 Corrientes州水稻作付地域

LOCALIZACION DEL CULTIVO DE ARROZ EN CORRIENTES



FUENTE: INTA

" ESTUDIO DE MERCADO Y COMERCIALIZACION DEL ARROZ " 1980年4月15日

表4.11 過去10年間における州別水稲面積および生産量

DATOS DE ARROZ DEL ULTIMO DECENIO
Cultivo y Producción

CAMPAÑA	TOTAL CORRIENTES	CHACO	ENTRE RIOS	FORMOSA	MISIONES	SALTA	SANTA FE	
AREA SEMBRADA -MILES DE HECTAREAS- 008-01								
1976/1977	96,0	45,0	4,7	28,7	7,7	0,9	0,5	8,5
1977/1978	100,0	49,3	4,2	31,6	6,7	0,3	0,5	7,4
1978/1979	115,7	57,4	5,4	32,7	10,3	0,4	0,6	8,9
1979/1980	87,8	37,4	3,1	30,9	6,3	0,7	0,2	9,2
1980/1981	84,8	46,5	2,5	22,5	4,2	0,7	0,1	8,3
1981/1982	117,3	70,0	3,6	29,6	5,0	0,7	0,1	8,3
1982/1983	108,8	55,5	4,7	35,9	3,3	0,6	0,1	8,6
1983/1984	131,0	72,4	3,5	41,0	5,3	0,5	0,1	8,2
1984/1985	110,8	54,0	3,4	40,7	3,0	0,6	0,1	9,0
1985/1986	117,0	60,0	2,7	42,1	2,6	0,5	0,1	9,0
AREA COSECHADA -MILES DE HECTAREAS 008-02								
1976/1977	90,6	43,5	4,5	26,9	7,7	0,8	0,5	6,5
1977/1978	95,0	46,5	4,0	30,1	6,3	0,3	0,5	7,0
1978/1979	102,3	50,0	4,7	28,6	9,4	0,4	0,6	8,4
1979/1980	82,2	36,5	3,0	26,7	6,1	0,7	0,2	8,7
1980/1981	81,8	45,6	2,3	21,3	3,8	0,7	0,1	7,8
1981/1982	113,6	68,0	3,6	28,4	5,0	0,7	0,1	7,8
1982/1983	81,0	32,2	3,2	33,6	3,3	0,5	0,1	7,8
1983/1984	129,4	71,2	3,5	40,6	5,3	0,5	0,1	8,2
1984/1985	105,2	49,0	3,4	40,6	2,6	0,6	0,1	8,9
1985/1986	99,9	45,0	2,5	42,1	2,2	0,5	0,1	7,5
RENDIMIENTO POR HECTAREA -KILOGRAMOS- 008-03								
1976/1977	3.532	3.149	4.032	4.126	3.974	2.536	3.184	2.923
1977/1978	3.263	2.774	2.500	4.305	2.969	3.333	2.000	2.817
1978/1979	3.047	2.476	3.146	4.112	3.085	3.000	2.833	2.738
1979/1980	3.236	2.951	3.194	3.862	3.000	1.714	3.000	2.816
1980/1981	3.500	3.335	3.792	4.215	2.947	2.676	2.143	2.782
1981/1982	3.849	3.559	4.062	5.011	3.460	2.899	2.143	2.410
1982/1983	3.422	2.519	3.125	4.574	2.994	2.456	2.143	2.595
1983/1984	3.679	3.581	3.000	4.286	2.925	3.019	2.500	2.344
1984/1985	3.601	3.000	2.941	4.562	2.923	3.710	2.500	2.989
1985/1986	3.786	2.900	3.307	5.014	3.650	3.639	2.500	2.424
PRODUCCION -MILES DE TONELADAS- 008-04								
1976/1977	320,0	137,0	18,5	111,0	30,6	2,3	1,6	19,0
1977/1978	310,0	129,0	10,0	130,0	19,0	1,0	1,0	20,0
1978/1979	312,0	124,0	15,1	118,0	29,0	1,2	1,7	23,0
1979/1980	266,0	108,0	9,9	103,5	18,3	1,2	0,6	24,5
1980/1981	286,3	152,1	9,1	90,0	11,2	1,9	0,3	21,7
1981/1982	437,2	242,0	14,5	142,3	17,3	2,0	0,3	18,8
1982/1983	277,2	81,2	10,0	153,9	10,0	1,4	0,3	20,4
1983/1984	476,0	255,0	10,5	174,0	15,5	1,6	0,2	19,2
1984/1985	379,0	147,0	10,0	185,0	7,6	2,3	0,2	26,9
1985/1986	378,2	130,5	8,3	211,1	8,0	2,0	0,1	18,2

Referencia: Ver nota introductoria.

Fuente: Secretaría de Estado de Agricultura, Ganadería y Pesca. Datos disponibles al 30/10/86.

表4.12 | Corrientes州における県別水稲面積および生産量

DEPARTAMENTO	SUPERFICIE	%	PRODUCCION	%	RENDIMIENTO	ORDEN DE
	COSECHADA		Tns		Kgs/Ha	
	Has					S/RENDIMIENTO
BELLA VISTA	875	2.4	2,800	2.6	3,200	2°
BERON DE ASTRADA	785	2.1	2,276	2.1	2,900	11°
CAPITAL	682	1.9	1,910	1.8	2,800	17°
CONCEPCION	1,360	3.7	4,488	4.2	3,300	1°
CURUZU CUATIA	④2,570	7.0	7,453	6.9	2,900	11°
EMPEDRADO	875	2.4	2,450	2.3	2,800	17°
ESQUINA	①3,850	10.5	12,320	11.4	3,200	2°
GRAL ALVEAR	1,670	4.6	4,676	4.3	2,800	17°
GRAL PAZ	1,775	4.9	5,147	4.8	2,900	11°
GOYA	②2,710	7.4	7,588	7.0	2,800	17°
ITAI	1,280	3.5	3,456	3.2	2,700	22°
ITUZAINGO	1,670	4.6	4,342	4.0	2,600	24°
LAVALLE	⑤2,330	6.4	6,524	6.1	2,800	17°
MBURUCUYA	440	1.2	1,144	1.1	2,600	24°
MERCEDES	1,665	4.6	4,828	4.5	2,900	11°
MONTE CASEROS	1,570	4.3	5,024	4.7	3,200	2°
P. DE LOS LIBRES	885	2.4	2,743	2.6	3,100	7°
SALADAS	⑥2,265	6.2	6,568	6.1	2,900	11°
SAN COSME	295	0.8	796	0.7	2,700	22°
S. LUIS DEL PALMAR	680	1.9	1,972	1.8	2,900	11°
SAN MARTIN	975	2.7	3,022	2.8	3,100	7°
SAN MIGUEL	685	1.9	2,192	2.0	3,200	2°
SAN ROQUE	1,560	4.3	4,680	4.3	3,000	10°
SANTO TOME	③2,640	7.2	8,184	7.6	3,100	7°
SAUCE	385	1.1	1,232	1.1	3,200	2°
TOTAL	36,477	100.0	107,815	100.0	2,956	

FUENTE: Estudio de Mercado y Comercialización del Arroz, 1980, CFI

州名	水稲収穫面積 (ha)	生産量 (%)
Berón de Astrada	785	2,276
Intuzaingó	1,670	4,342
Gral Paz	1,775	5,147
San Miguel	685	2,192
Santo Tomé	2,640	8,184
計	7,555	22,141

表4.13 Corrientes州における米の経営規模別流通経路

CANALES DE COMERCIALIZACION DE PRIMERA
VENTA

ESTRATOS (1)	ESTABLECIMIENTOS INDUSTRIALES		ESTABLECIMIENTOS AGRO-INDUSTRIALES		TOTAL	
	N° PRODUCTORES	%	N° PRODUCTORES	%	N° PRODUCTORES	%
1 - 200 Ha	50	21.7	25	10.9	75	32.6
201 - 400 Ha	41	17.9	12	5.1	53	23.0
Mas de 400 Ha	74	32.2	28	12.2	102	44.4
TOTAL	165	71.8	65	28.2	230	100.0

FUENTE : E. E. R. A. CORRIENTES. DEPARTAMENTO DE ECONOMIA

(1) Superficie de la explotación

表4.14 精米施設の職員構成および労働生産性の推移

PERIODO	TOTAL (1)	OBREROS (1)	%	EMPLEADOS TECNICOS Y ADMINISTRATI- TIVOS (1)	%	TOTAL HORAS OBREO TRA- BAJADAS MILES DE HS.	TOTAL DE PRODUCCION MILES DE TNS.	PRODUCTIVIDAD POR HORA TRABAJADA KGS/H
1972	879	722	82.1	157	17.9	1,510.8	115.0	76.1
1973	835	683	81.8	152	18.2	1,461.7	103.1	70.5
1974	1,158	958	82.7	200	17.3	1,945.5	147.4	75.8
1975	1,325	1,115	84.2	210	15.8	2,286.9	176.3	77.1
1976	1,307	1,088	83.2	219	16.8	2,172.3	163.9	75.4
1977	1,590	1,341	84.3	249	15.7	2,885.6	213.6	74.0
1978	1,435	1,187	82.7	248	17.3	2,521.8	167.6	66.5

(1) Corresponden a promedios mensuales de año respectivo.

FUENTE : ELABORACION PROPIA, datos de INDEC.

J N Gの統計によればCorrientes州の穀物貯蔵施設容量は、272,000t（農場レベル115,000t、流通業者157,000t）となっている（表4.15～4.16）。この全穀物を対象とした貯蔵能力は、全国の0.8%程度にすぎず、J N Gによる公的貯蔵施設の存在しないことが注目される。しかし、現在世銀の融資によりSanto Tome（5,000t規模）、Ita Ibate（3,000t規模）に穀物サイロを建設中であり、将来は貯蔵施設の充実が図られることになる。精米施設については、1979/80年現在、全国で以下に示すとおり92ヵ所の施設がある。

州名	精米施設	構成比率
CORRIENTES	44	47.8
ENTRE RIOS	30	32.6
SANTA FE	11	12.0
FORMOSA	6	6.5
MISIONES	1	1.1
計	92	100

精米の歩止りについては、アルゼンティン国の平均で粳重量に対し玄米80%、精米65%といわれている。輸出用としては、タイ1等米（碎米混入率5%以内）に応じて品質管理を行っており、碎米混入率7%以上のものが多いが輸入相手国により4%～20%と巾が大きい。国内市場向けとしては基準を緩和しており、玄米での碎米の混入率15%以下、25%以下、50%以下の3つのランクにより区分されている（表4.17）。表4.18に精米の歩止りの推移について示す。

インド等で需要の高いパーボイル米（arroz parboilizado）生産は、全国で2ヵ所、Entre Rios州のConcepcion del Uruguay及びBuenos Airesで行なわれており、前者の工場では粳ベースで、120t/日、年間28,000tの能力を有している。アルゼンティン国内におけるパーボイル米（通称arroz oro）の消費は横這いで、国内市場向けとしてはこの能力で十分である。

前述したように、米の流通は精米会社（Molinero）、精米施設をもつ生産者（Productor con Molino）が中心となって行なっている。国内市場向けにはこれらの会社、生産者が乾燥、精米、包装を行なったのち直接小売店に出荷している。また、彼らは信用貸しで生産者に対して生産費用の貸付も行っている。

表4.15 全国の穀物総貯蔵容量 (t)

	ALMACENAJE EN SILO CHACRA	ALMACENAJE EN INST. OFIC.	COMERCIALES EN GRANOS	CAPACIDAD TOTAL
DISTRITOS EN PROVINCIA DE BUENOS AIRES	4 208 677	1 438 591	1 111 2973	1 676 0241
RESTANTES DISTRITOS Y PROVINCIAS	2 097 058	1 107 500	1 220 6083	1 541 0641
CAPACIDAD TOTAL	6 305 735	2 546 091	2 331 9056	3 217 0882

出典：Capacidad de Almacenaje, 1986, JNG

表4.16 州別穀物貯蔵容量 (t)

PROVINCIAS DISTRITOS PARTIDOS-DYOS	ALMC. EN S. CHACRA	ALMC. EN IMST. OFIC.	CTES. EN GRANOS	CAPACIDAD TOTAL
CAPITAL FED.	1	170000	601828	771829
Buenos Aires	4208677	1438591	11112973	16760241
CORDOBA	630397	209271	3673701	4513369
CHACO	5000	95000	232033	332033
ENTRE RIOS	146167	41715	855911	1043793
FORMOSA	6200	1	52896	59097
LA PAMPA	282702	23613	1019424	1325739
SANTA FE	778938	722962	5651230	7153130
CORRIENTES	114950	1	156677	271628
MISIONES	34700	1	84281	118982
JUJUY	1200	1	20680	21881
SAN JUAN Y MENDOZA	1	1	15360	15362
SALTA	7200	9024	135856	152080
CATAMARCA	2000	1	1750	3751
SANTIAGO DEL ESTERO	5100	1	42388	47489
SAN LUIS	20000	1	84889	104890
TUCUMAN	62502	5906	179006	247414
OTRAS PROVINCIAS	1	1	1	3

注 "1" は施設容量0を意味する。
 出典: Capacidad de Almacenaje, 1986, JNG

表4.17.1 米の品質基準

ARROZ CÁSCARA

BASE DE COMERCIALIZACIÓN PARA EL ARROZ CÁSCARA

Resolución "JNG" Nº 23.891 (1-3-83)

Rige a partir del 21-3-83

Se entiende por arroz cáscara a los granos con sus envolturas (glumelas) que provengan de la especie *Oryza sativa* L.

Tipos: El arroz cáscara se clasificará en cuatro tipos, de acuerdo con las siguientes especificaciones:

Largo ancho (Doble Carolina): Comprende los cultivares cuya relación largo/ancho es mayor a 2:1 y menor a 3:1 y cuya longitud media de los granos descascarados es igual o mayor a 7,0 mm. (Ejemplos: Fortuna).

Largo fino: Comprende los cultivares cuya relación largo/ancho es igual o mayor a 3:1 y cuya longitud media de los granos descascarados es igual o mayor a 5,5 mm. (Ejemplos: Blue Bonnet 50).

Mediano, (Mediano Carolina): Comprende los cultivares cuya relación largo/ancho es mayor a 2:1 y menor a 3:1 y cuya longitud media de los granos descascarados es igual o mayor a 6,0 mm. y menor a 7,0 mm. (Ejemplos: La Plata Itapé).

Corto, (Japonés): Comprende los cultivares cuya relación largo/ancho es igual o menor a 2:1 y cuya longitud media de los granos descascarados es menor a 6,0 mm. (Ejemplos: Chajez P.A.).

TIPOS	Base \$	Tolerancia de Recibo %	Bonificaciones (por C/% o Frac. Proporcional)	REBAJAS (Por C/% o Frac. Proporcional)	
				Para valores inferiores a las bases 1% por cada por ciento o fracción proporcional hasta 45%.	Para valores inferiores a 45% se rebajará 1,50 \$ por cada por ciento o fracción proporcional.
LARGO ANCHO	54	42	Para valores superiores a las bases a razón de 1% por cada por ciento o fracción proporcional.	Para valores inferiores a las bases 1% por cada por ciento o fracción proporcional hasta 45%.	Para valores inferiores a 45% se rebajará 1,50 \$ por cada por ciento o fracción proporcional.
LARGO FINO	56	42	Para valores superiores a las bases a razón de 1% por cada por ciento o fracción proporcional.	Para valores inferiores a las bases 1% por cada por ciento o fracción proporcional hasta 45%.	Para valores inferiores a 45% se rebajará 1,60 \$ por cada por ciento o fracción proporcional.
MEDIANO	54	42	Para valores superiores a las bases a razón de 1% por cada por ciento o fracción proporcional.	Para valores inferiores a las bases 1% por cada por ciento o fracción proporcional hasta 45%.	Para valores inferiores a 45% se rebajará 1,50 \$ por cada por ciento o fracción proporcional.
CORTO	59	45	Para valores superiores a las bases a razón de 1% por cada por ciento o fracción proporcional.	Para valores inferiores a las bases 1% por cada por ciento o fracción proporcional hasta 48%.	Para valores inferiores a 48% se rebajará 1,50 \$ por cada por ciento o fracción proporcional.

RENDIMIENTO MINIMO DE GRANOS ENTEROS Y QUEBRADOS (B)

TIPOS	Base %	Tolerancia de Recibo %	Bonificaciones (por c/% o f. p.)	REBAJAS (Por c/% o Frac. Proporcional)
Largo Ancho	60	63	Para valores superiores a las bases a razón de 1% por cada por ciento o fracción proporcional.	Para valores inferiores a las bases 1% por cada por ciento o fracción proporcional hasta 65%.
Largo Fino	68	63	Para valores superiores a las bases a razón de 1% por cada por ciento o fracción proporcional.	Para valores inferiores a las bases 1% por cada por ciento o fracción proporcional hasta 65%.
Mediano	68	63	Para valores superiores a las bases a razón de 1% por cada por ciento o fracción proporcional.	Para valores inferiores a las bases 1% por cada por ciento o fracción proporcional hasta 65%.
Corto	70	65	Para valores superiores a las bases a razón de 1% por cada por ciento o fracción proporcional.	Para valores inferiores a las bases 1% por cada por ciento o fracción proporcional hasta 67%.

OTROS RUBROS (PARA TODOS LOS TIPOS)

RUBROS	Base %	T. de Recibo %	REBAJAS (Por cada por ciento o Frac. Proporcional)
Materia Extraña	—	3,00	Hasta la tolerancia de recibo (3,00%) se rebajará a razón del 1%. Merc. que resulte superior a la tol. de recibo se rebajará al 1,5%.
Otros Tipos	—	2,00	—
Granos Panza Blanca	1,00	5,00	Para valores superiores a la base (1,00%) y hasta la tolerancia de recibo (5,00%) se rebajará al 1%.
Granos Manchados y/o Coloreados	0,25	0,50	Para valores superiores a la base (0,25%) y hasta la tolerancia de recibo (0,50%) se rebajará a razón del 1%.
Granos Enyesados o Muertos	0,25	1,00	Para valores superiores a la base (0,25%) y hasta la tolerancia de recibo (1,00%) se rebajará al 1%. Para valores superiores a la tolerancia de recibo (1,00%) hasta el 2,00% se rebajará al 1,50%.
Gra. col. y/o c. est. totales	—	2,50	Hasta la tol. de rec. (2,50%) se reb. al 2%.
Humedad	—	14,0	Cuando la humedad excede la tolerancia de recibo (14,0%) se descontarán los gastos de saca y merma de acuerdo a las tablas establecidas por la Junta Nacional de Granos.
Sem. de Buj. y/o Porotillo.	—	Una semilla	Se rebajará 0,50% por c/sem. que excede la tolerancia de recibo (una semilla).

Libre de insectos vivos
(a y b) Ver Resolución J.N.G. Nº 28.529/86

表4.17.2 米の品質基準 (続き)

ARROZ
DETERMINADOR DE BLANCURA EN ARROZ

Resolución "J.N.G." Nº 28.529/85

Buenos Aires, 12 de Marzo de 1985.

VISTO la resolución "JNG" Nº 25.787, y

CONSIDERANDO:

Que el grado de elaboración del arroz, requerido para el análisis de calidad, debe ajustarse al mismo nivel de pulimento que recibe la semilla en su proceso industrial.

Que los requerimientos de grado de blancura de la demanda interna y externa, resultan ser inferiores al fijado en la mencionada resolución, sin que ello signifique un deterioramiento de la calidad de los arroces que se elaboran en la actualidad.

Por ello,

LA JUNTA NACIONAL DE GRANOS
RESUELVE:

ARTICULO 1º.- Derégase la resolución "JNG" Nº 25.787.

ARTICULO 2º.- Modifícase el punto 7 del anexo de la resolución "JNG" Nº 23.881, que en su párrafo segundo quedará redactado del siguiente modo:

"El grado de elaboración se deberá estandarizar a un grado de pulido fijado por medio del determinador de blancura Katt c 300 o por cualquier otro comparador que dé resultados equivalentes, quedando establecido el valor de 40 ± 1 para todos los tipos, sobre la base de la utilización de una muestra de granos enteros de arroz, libra de defectos".

ARTICULO 3º.- La presente resolución comenzará a regir para todas las operaciones de compra-venta o depósito que se realicen a partir del día 13 de marzo del presente año.

ARTICULO 4º.- Publíquese en el Boletín Oficial.

ARTICULO 5º.- Pase a la Secretaría General, a sus efectos.

TRAMITE Nº 703.783.-

RESOLUCION "JNG" Nº 28.529.-

Fdo. a: Dr. Carlos A. Igarano.
Dr. Roberto E. Bermudez.
Sr. Víctor J. Calzolari.
Dr. Horacio L. Covanaché.
Dr. Héctor H. Niell.
Lic. María Inés Peñalva.
Sr. Francisco J. Tejerina.

TABLA DE HIERNA POR SECADO

ARROZ CASCARA

§ HUMEDAD	§ HIERNA	§ HUMEDAD	§ HIERNA	§ HUMEDAD	§ HIERNA	§ HUMEDAD	§ HIERNA	§ HUMEDAD	§ HIERNA	§ HUMEDAD	§ HIERNA
14,1	0,69	15,9	2,77	17,8	4,97	19,8	7,05	21,5	9,25	23,3	11,33
14,2	0,81	16,0	2,89	17,9	5,09	19,7	7,17	21,6	9,35	23,4	11,44
14,3	0,92	16,1	3,01	18,0	5,20	19,8	7,28	21,7	9,48	23,5	11,56
14,4	1,04	16,2	3,12	18,1	5,32	19,9	7,40	21,8	9,60	23,6	11,68
14,5	1,16	16,3	3,24	18,2	5,43	20,0	7,51	21,9	9,71	23,7	11,79
14,6	1,27	16,4	3,35	18,3	5,55	20,1	7,63	22,0	9,83	23,8	11,91
14,7	1,39	16,5	3,47	18,4	5,66	20,2	7,75	22,1	9,94	23,9	12,02
14,8	1,50	16,6	3,58	18,5	5,78	20,3	7,86	22,2	10,06	24,0	12,14
14,9	1,62	16,7	3,70	18,6	5,90	20,4	7,98	22,3	10,17	24,1	12,25
15,0	1,73	16,8	3,81	18,7	6,01	20,5	8,09	22,4	10,29	24,2	12,37
15,1	1,85	16,9	3,93	18,8	6,13	20,6	8,21	22,5	10,40	24,3	12,48
15,2	1,97	17,0	4,05	18,9	6,24	20,7	8,32	22,6	10,52	24,4	12,60
15,3	2,08	17,1	4,16	19,0	6,36	20,8	8,44	22,7	10,64	24,5	12,72
15,4	2,20	17,2	4,28	19,1	6,47	20,9	8,55	22,8	10,75	24,6	12,83
15,5	2,31	17,3	4,39	19,2	6,59	21,0	8,67	22,9	10,87	24,7	12,95
15,6	2,43	17,4	4,51	19,3	6,70	21,1	8,79	23,0	10,98	24,8	13,06
15,7	2,54	17,5	4,62	19,4	6,82	21,2	8,90	23,1	11,10	24,9	13,18
15,8	2,66	17,6	4,74	19,5	6,94	21,3	9,02	23,2	11,21	25,0	13,29
		17,7	4,86			21,4	9,13				

表4.18 精米歩留りの推移

	ARROZ ENTERO		GLACE	TOTAL	ARROZ QUEBRADO		ARROCIN	AFRECHO AFRECHILLO Y OTROS		
	TOTAL	CAROLINA			1/2 GRANA	1/4 GRANA				
1970	103,599	82,039	21,560	34,298	0.33	24,208	6,085	4,005	30,342	0.29
1971	99,168	89,325	9,843	35,324	0.36	25,528	6,513	3,283	29,828	0.30
1972	84,736	77,112	7,624	30,257	0.36	22,301	5,660	2,296	24,890	0.29
1973	79,642	72,891	6,751	23,468	0.29	17,493	4,053	1,922	20,978	0.26
1974	115,165	107,397	7,769	32,198	0.28	24,389	4,671	3,138	26,689	0.23
1975	138,914	132,156	6,758	37,376	0.27	27,253	5,355	3,786	29,815	0.21
1976	128,548	124,907	3,641	35,347	0.27	25,622	6,061	3,664	26,963	0.21
1977	167,971	164,449	3,522	45,677	0.27	32,048	9,038	4,591	28,983	0.17
1978	133,557	130,729	2,828	34,092	0.26	24,167	6,144	3,781	21,357	0.16

FUENTE : INDEC

Corrientes州の水稻生産者の約80%が借地による経営であり条件の悪い土地での耕作が多いこと、畑作に比べ生産コストが高いことから、近年の経済の悪化にともない借地経営が減少するとともにこの信用貸しが増加している。海外市場については主に輸出商社、農協が行っている。輸出の際には、輸出相手国と契約後、5ヵ月以内にJ N Gに取引を報告する義務 (REGISTRO DE EXPORTACION) がある他、1985年より、輸出の際の最低価格 (VALOR INDICE MINIMO) 制度が設けられている。表 3.6.19に国内市場及び海外市場における主な米の流通業者のリストを示す。

表4.19 主な米の流通業者

	業 者 名	所 在 地	ブランド名	備 考
国内市場	FRUGONE y PREVE (LA ARROCERA ARGENTINA)	Bs As	Gallo	パーボイルド米の (Concepcion del Uruguay) も所有
	MOLINOS RIO DE LA PLATA	Bs As	Cordor	パーボイルド米の工場 (Bs As)も所有
	MAFAC S.A.	Goya	Moneda	
	MOLINO ARROCERO DEL LITORAL S.A.	Roman, S Fe	Sussarelli	
	COOP. DE OLEAGINOSO DE S. TOME	S. TOME	—	Plan Alimentano Nacional
	COOP DE 12 DE OCTUBRE	Goya	—	主に輸出
	PROMAR S.A.	Corrientes	—	
海外市場	FECOAR	Bs As	—	E. Rios州の10~12農協に よる連合 100%輸出
	YUSIN S.A.	Bs As	—	唯一の民間輸出商社

2) 野菜

Corrientes州の野菜の生産地は気候条件により以下の3つに区分できる。

i) ZONA CENTRO DESTE (中西部)

EMPEDRADO, SALADAS, BELLA VISTA, CONCEPCION

SAN ROQUE, LAVALLE, GOYA, ESQUINA, MBURUCUYA

(ii) ZONA NORTE (北部)

CAPITAL, S. COSME, SLUIS DEL PALMAR, ITAI

GRAL PAZ, BERON DE ASTRADA, SAN MIGUEL, ITUZAINGO

(iii) ZONA COSTA DEL URQUAY (ウルグアイ川沿岸部)

SANTO TOME, SAN MARTIN, GRAL ALVEAR, MERCEDES

PASO DE LOS LIBRES, CURUZU-CUATIA, SAUCE, MONTE CASEROS

中西部は、野菜生産では最も重要な地域で、かんきつ類生産のための農業用機械、施設の整備が行われた後に野菜生産が開始されたため、他地域に比べ生産のための諸条件が良好となっている。SALADA県、MBURUCUYA県、EMPEDRADO県では露地栽培の生産が多く、GOYA県では面積は少ないもののハウス栽培が行われている。またBELLA VISTA県のFULTICLA社では、加工用イチゴを生産しており、単収は全国で最も高いレベルとなっている。ただ、気候条件は北部に比べると劣り、南部ほど悪くなる。降霜回数は、BELLA VISTA県、SALADA県で1.4回/年、GOYA県、ESQUINA県で2.4~5回/年である。

北部は他地域に比べ気候条件は最も良く降霜回数は0.4回/年となっている。

野菜生産は主にCAPITAL、S. COSME県、ITAI県で行われている。CAPITAL、S. COSME県ではハウス栽培農家もいるが、数は少なく、全般的に小農が多い(5~10ha規模)。ITAI県の他は、野菜生産に適した土地の少ないこと。また大規模水田、畜産農家が多いこと(B. DE. ASIRADA県、ITUZAINGO県)から、野菜生産はあまり行われていない。

ハウス栽培は主に地下水(井戸)、ため池の利用の点滴かんがいが多く(約70%)他はうね間かんがいを行っている。

ウルグアイ川沿岸地域は、気候条件は最も悪く、降霜回数は4~5回/年となっている。このため本格的な野菜栽培は行われていない。次に本プロジェクトで導入される野菜のうち、重要

性の高いトマト、ピーマンの生産、流通について述べる。

Corrientes州におけるトマト・ピーマンは、温暖な気候を利用し、端境期をねらった生産が特徴となっている。

生産は主に6月から9月にかけて行われる。これらの産物は一般的に価格の季節変動が激しく、Buenos Airesでの価格が高い時期には約90%がBuenos Aires中央市場に出荷される。これらの流通にはREMATADOR, CONSIGNATARIOと呼ばれる仲買人が重要な役割を果たしている。Buenos Aires中央市場では、生産者を含む約1,000人の仲買人が取り引きを行っている。通常の場合生産者が農産物を市場まで運搬し、これらの仲買人に販売若しくは販売委託するのが正規ルートであるが、このような流通経路をとるものは少ない。Buenos Aires中央市場に出荷するためには生産者としての登録が必要であり、安定した出荷が行えることが条件となる。しかし、Corrientes州での野菜生産者は小農が多く仲買人から生産費の信用貸しを受けているものが多い。この場合、生産者の立場は弱くなるため販売代金の受取が遅れるなど生産者にとって不利な契約となる。

近年Goya, Bella Vista, Mercedes県等の州中西部でハウスによる野菜栽培が増加しており、その流通を農協が受け持っている例も見受けられる。

また、1987年にはALADIによりパラグアイから約360tのトマトが輸入されることになったが、実際にはこれを大幅に上回る量が未登録で行われており、大きな値崩れが生じた時期もある。

3) かんきつ類

Corrientes州においては、全県でかんきつ類を生産しているが、主な生産地は図 3.6.4に見られるように3つに区分できる。

ZONA 1 BELLA VISTA, SALADAS, SAN ROQUE, CONCEPCION

MBURUCUYA, GRAL PAZ, SAN MIGUEL, LA VALLE

ZONA 2 MONTE CASEROS

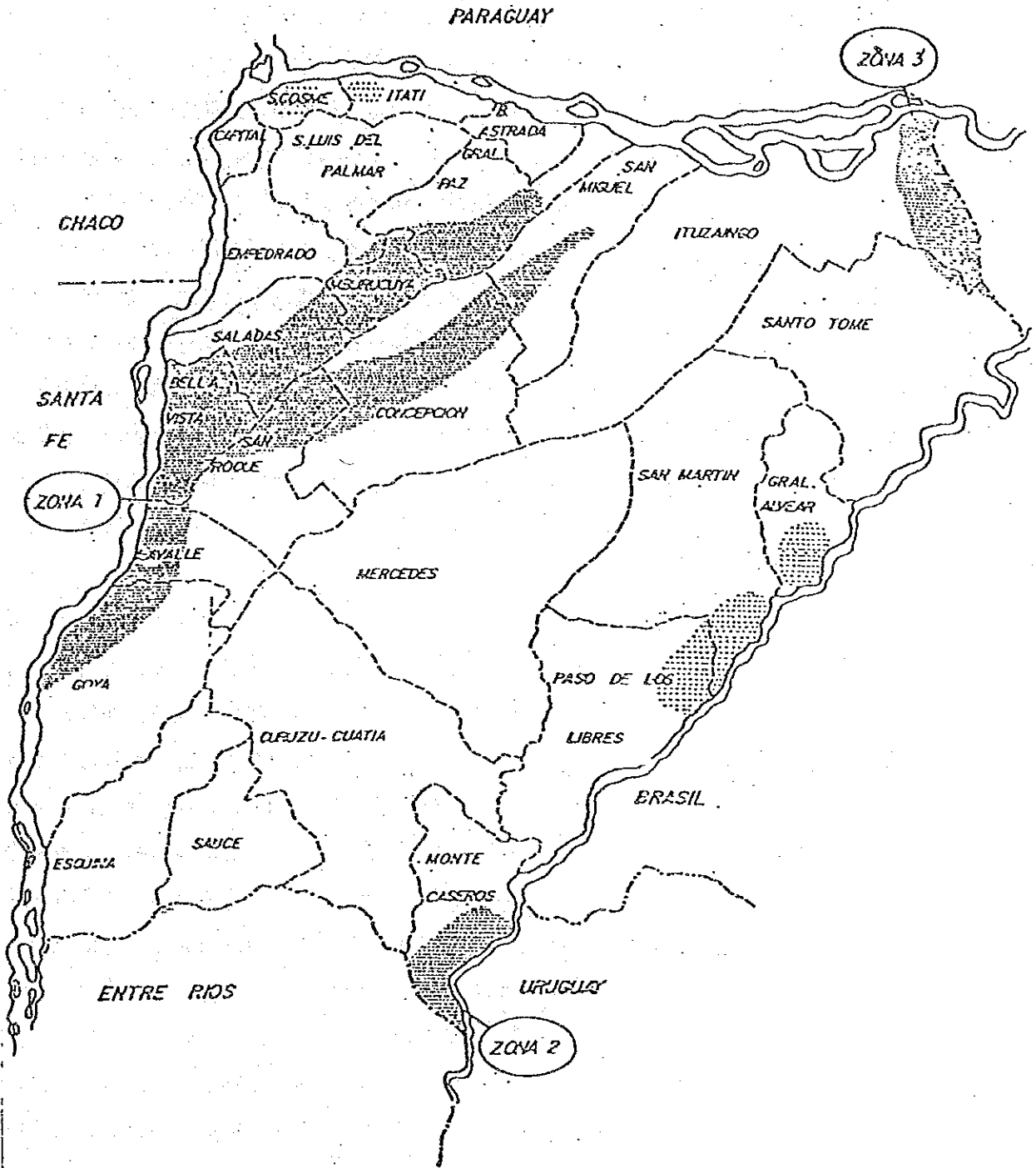
ZONA 3 ITUZAINGO

これらの主産地は、主にかんきつ栽培に適した土壌地帯に分布している。

図4.4 Corrientes州かんきつ類生産地域

MAPA N° 7 - PROVINCIA DE CORRIENTES

LÓCALIZACION DE LAS AREAS PRODUCTORAS DE CITRUS



 ZONAS CITRICAS

ZONA 1では、濃縮ジュース工場が、BELLA VISTA県に3カ所、SALADAS県に1カ所あるため、これらの工場向けに、主に加工用（industria）として出荷されるものが多い。

これに対しZONA 2では、州内でも最もBuenos Airesに近い立地条件を生かした生食用（fresco）の割合が多くなっている。

MONTE CASROS（ZONA 2）にはかんきつ生産者組合があり、隣接するENTRE RIOS州のCHAJARI, CO NCORDIAにも同様の組合がある。これらの組合は活発な活動を行っており、農業用資材の会社も多いことから、（7軒）農業用資材の購入面でも有利となっている。

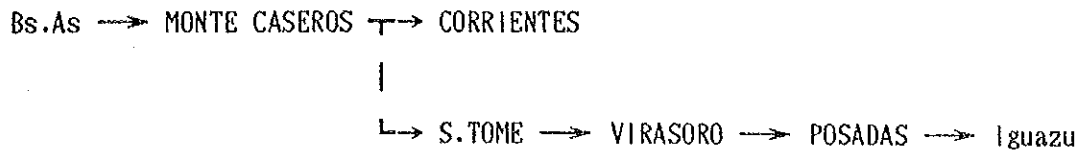
かんきつ類の生産については、従来は6月から8月までのが多かったが1960年代半ばから需要の多い9月から12月の生産が多くなってきている。Corrientes州全体で30～40万tが生産され州の重要産品となっている。このうち約70%が生食用、30%が加工用に使用されてきたが一部の地域において1982年以降気候による影響で品質の低下が著しく、生食用の割合が55～60%まで落込んでいる。生食用のものは約60%がBuenos Aires中央市場に出荷され、残りは他の地方に出荷される。これらの流通は選果工場を持つ仲買人により行われており、これらの仲買人が収穫前に一定の単価で買い取る様な契約方式がとられているが、近年物価の変動が激しいため農家が直接選果工場に運搬し売り渡すか販売委託する契約が多くなってきている。また、大規模生産者の中には選果施設を持ち、市場への流通をすべて自分で行っている者もある。

4) 大豆、トウモロコシ

Corrientes州における大豆、トウモロコシの生産は主にSANTO TOME, ITUZAINGO県において行われており、米と同様借地による生産が多いのが特徴となっている。営農上の問題点としては農作業機械の老朽化による生産コストの上昇が上げられ、大豆の場合は平均収量1,800kg/haに対し、生産コストが大豆換算で1,400～1,600kg/haものぼると言われている。大豆の流通はSANTO TOME, VIRASOROにある農協が主に行っており大部分が乾燥、貯蔵ののちEntre Rios, Santa Fe州の製油工場等に出荷される。トウモロコシについても同様に、Buenos Airesでまだ収穫の始まらない1月にENTRE RIOS州の配合飼料工場に出荷される。

農協から製油工場等への輸送は、ほとんど列車が使われており、Corrientes州からBs, Asまでの鉄道は下記の2系統がある。（FERROCARRILES: 国鉄）

1) URQUIZA線



2) MITRE線



URQUIZA線で S.TOME - Bs.As 間は貨物で約18~19時間、貨物車は農協からの注文で必要な時に運行することとなっている。

舟運は列車より安価であるが、URUGUAY川の水位変動が激しく、港湾施設が老朽化しており、改修が必要なことからほとんど行われていない。

5) 牛肉

Corrientes州での畜産は大きく北部・南部の2つに分けることができる。南部は北部に比べ土壌条件が良好で生産性は高いが、北部は低湿地が多いため生産性は低い。1983年センサスでは、Corrientes州における成牛の飼養頭数は3,900千頭、子牛650千頭、羊2,000千頭(90%は南部)となっている。子牛はほとんどが肥育のために州外に出され、1970年~1982年の間に年間最高710千頭(1979)、最低350千頭(1975)が州外に出荷されている。

6) 木材

アルゼンティンの林業部門は第1次産業の中では生産の絶対量が不足する数少ない部門の一つで、毎年大量の木材輸入が行われており、多額の外貨を流出させている。主にチリ・パラグアイ・ボリビアから製材、ブラジル・カナダ・フィンランドからパルプが輸入されており、その輸入額は50,000~130,000千ドルとなっている。このような状況のもと政府は植林に対して補助金による助成を行い、年間約35,000haの植林が行われている。しかし、IFONAからの聞き取りによれば20年後の需要をまかなうためには年間85,000haの植林が必要と考えられている。

Corrientes州での植林面積は1987年時点で約110千haとなっており、これは国内ではMisiones州につぐ面積であり、この2州でアルゼンティンの植林面積の約45%を占める。Corrientes州ではエリオッティ松・ユーカリが主な樹種となっているが、これらの木材の利用方法としては製材、パルプ、電柱が主体となっている。調査地域内には小規模な製材工場があるものの、ほとんどがMisiones州の工場に出荷されている。

JICA